資料２－２

北杜市　男女共同参画に関する
中学生・高校生アンケート調査

調査結果速報版

2026 年 10 月

目　　次

Ⅰ．調査方法と回収状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ．回答者属性　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅲ．調査結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

１）男女の地位　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
２）男性の家事参加　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
３）「夫は外、妻は家庭」という考え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
４）女性の就業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
５）女性の働きやすさ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
６）昇進意向　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
７）災害時の性別配慮　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
８）用語の認知　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
９）暴力被害時等の相談先認知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
10）男女共同参画社会のイメージ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28

Ⅰ．調査方法と回収状況

１．調査期間

７月 16 日(木)～８月 31 日(月)

２．対象

北杜市内の学校に通う中学生、高校生及び北杜市内在住の中学生、高校生

３．対象者

2,307 人

４．調査方法

自記入式（学校配布、Web による回収）

５．回収状況

	回収状況	対／配布数率	備考
配布数	2,307	100%	
回収	1,242	53.8%	中学生 465、高校生 777
集計不能	0	0%	
有効回収	1,242	53.8%	

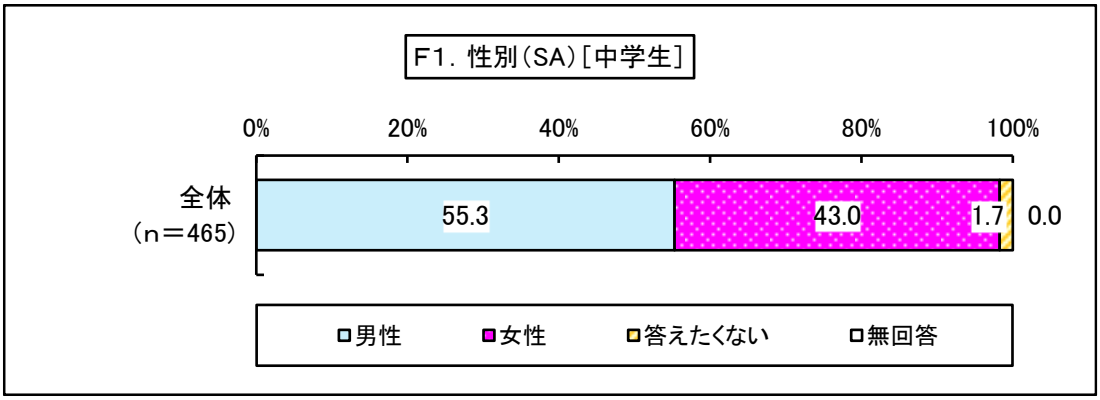
※グラフ内の表記について

・(ｎ＝○○)	回答者の数
・(SA)　シングルアンサー	あてはまるもの、ひとつに回答
・(3LA) リミテッドアンサー	先頭数字の数まで回答(3 つまで)
・(MA)　マルチプルアンサー	あてはまるもの、いくつでも回答

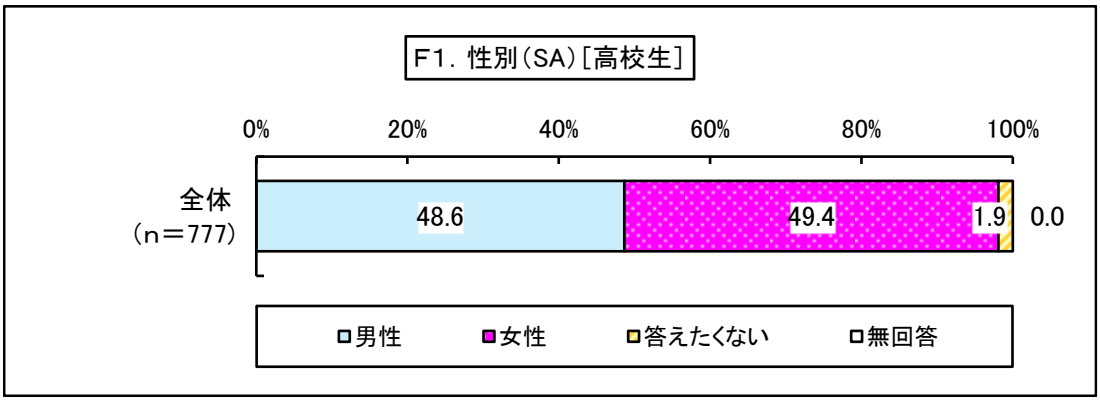
Ⅱ．回答者属性

１．性別

○中学生の回答者の性別については、「男性」55.3%、「女性」43.0%、「答えたくない」1.7%となっています。



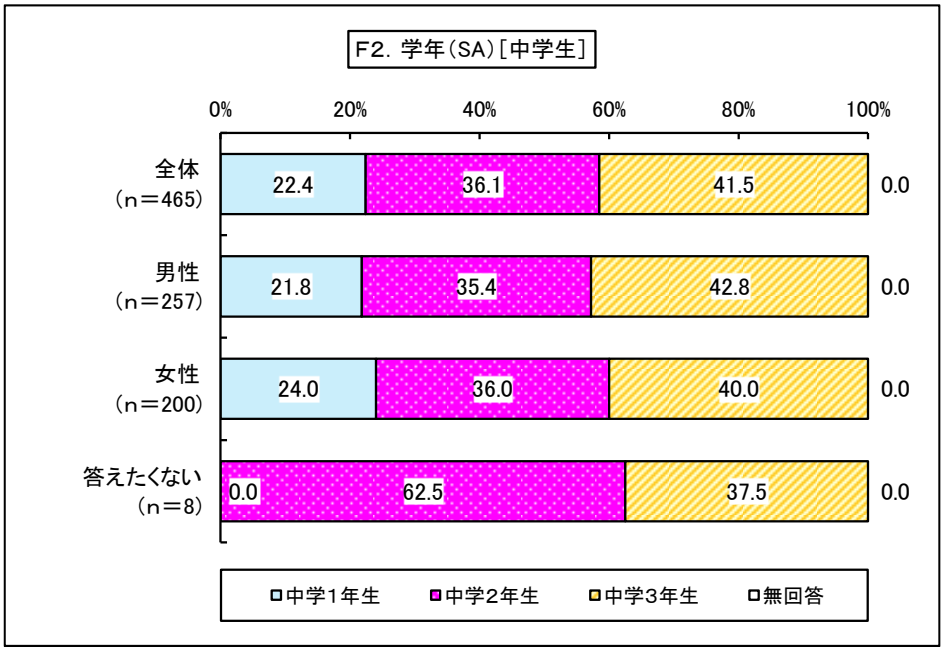
○高校生の回答者の性別については、「女性」49.4%、「男性」48.6%となっており、ほぼ同程度となっています。また、「答えたくない」は 1.9%となっています。



２．学年

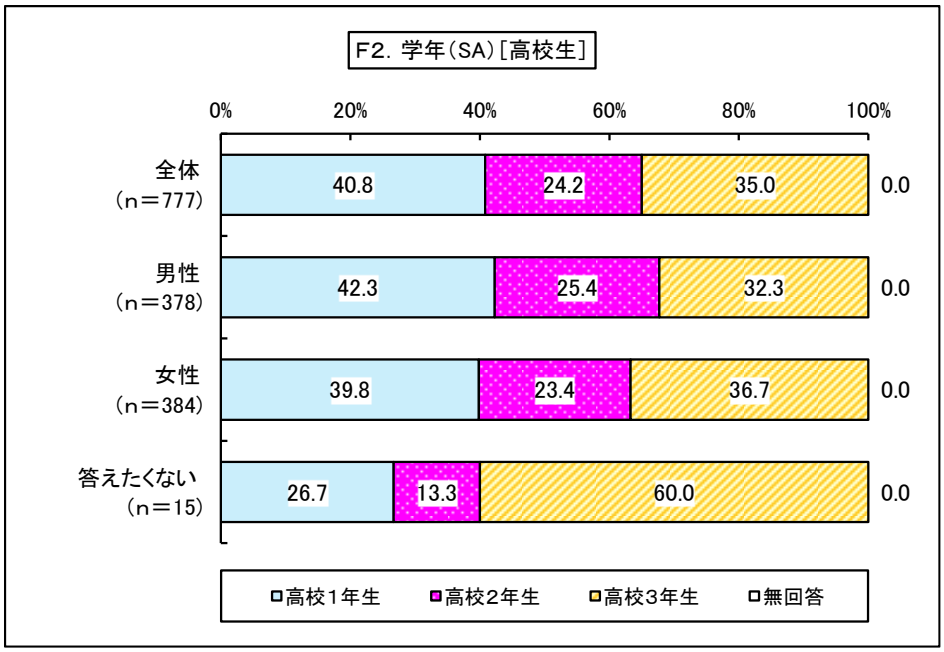
○中学生の学年別の回答者については、「中学３年生」41.5%が最も多く、次いで「中学２年生」36.1%、「中学１年生」22.4%となっています。

○中学生の各学年の割合に、性別による大きな違いはみられません。



○高校生の学年別の回答者については、「高校１年生」40.8%が最も多く、次いで「高校３年生」35.0%、「高校２年生」24.2%となっています。

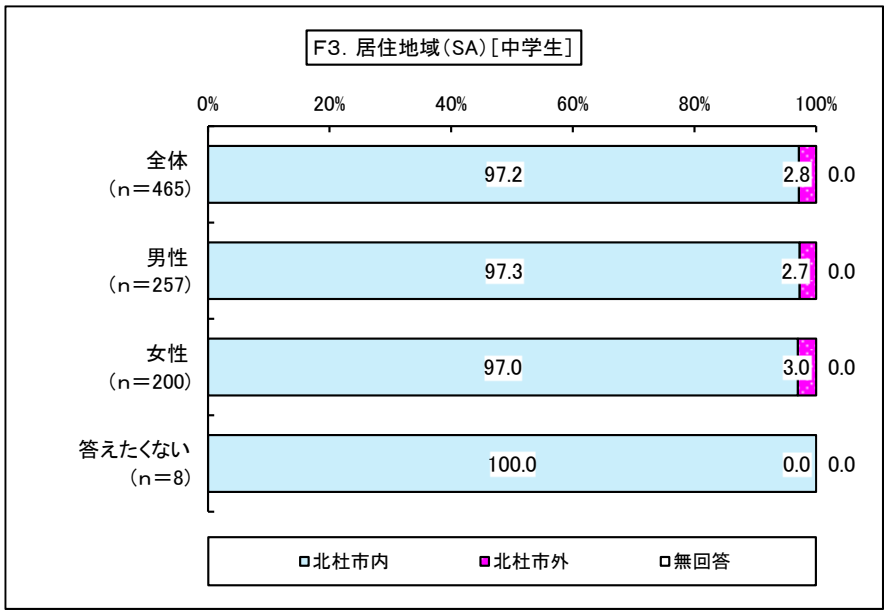
○高校生の各学年の割合に、性別による大きな違いはみられません。



３．住んでいる所

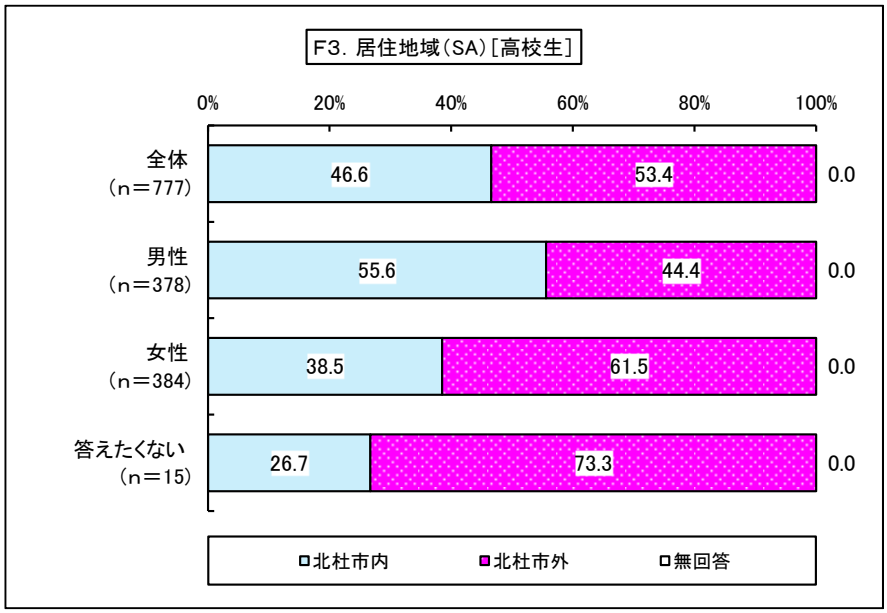
○中学生の居住地域については、「北杜市内」97.2%、「北杜市外」2.8%となっており、回答者のほとんどが北杜市内に居住しています。

○中学生の居住地域は、性別による大きな違いはみられません。



○高校生の居住地域については、「北杜市外」が 53.4%と半数を超え、「北杜市内」の 46.6%をやや上回っています。中学生では大半が「北杜市内」に居住しているのに対し、高校生は市外居住者が半数を超えており、中学生と高校生で居住地域の傾向に違いがみられます。

○高校生の回答を性別でみると、「北杜市外」は男性 44.4%、女性 61.5%となっており、女性の割合が多くなっています。



Ⅲ．調査結果

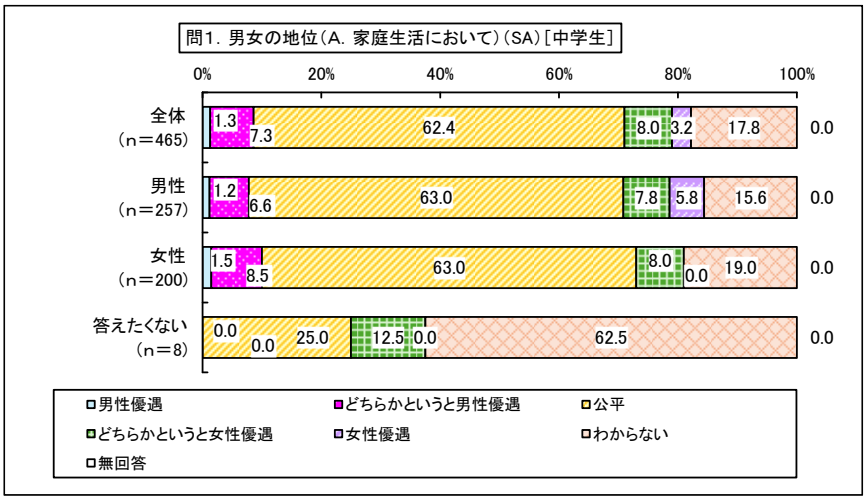
１．中高生のアンケート結果について

１）男女の地位

問１．あなたは、次の分野で男女の地位は公平になっていると思いますか。ＡからＥそれぞれについてお答えください。（○は各項目それぞれ１つだけ）

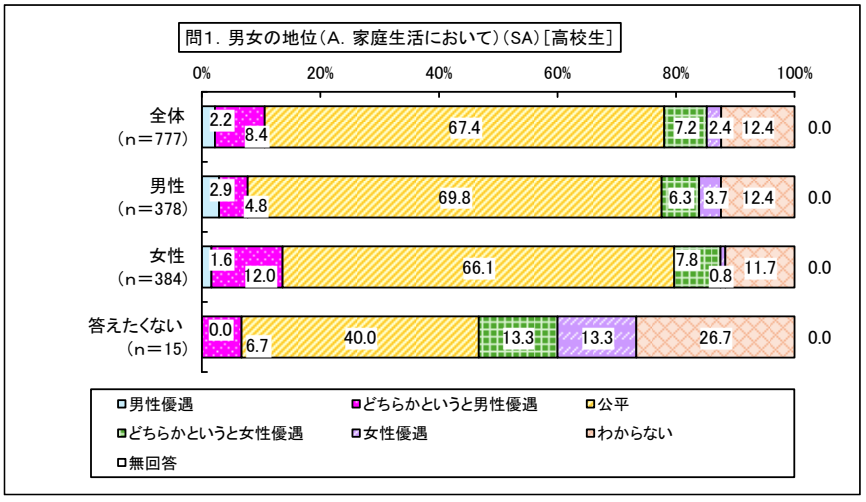
○中学生の家庭生活における男女の地位に対する意識は、「公平」62.4％が最も多く、６割を超えています。次いで「わからない」17.8％となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「女性優遇」は男性5.8%、女性0.0％となっております。



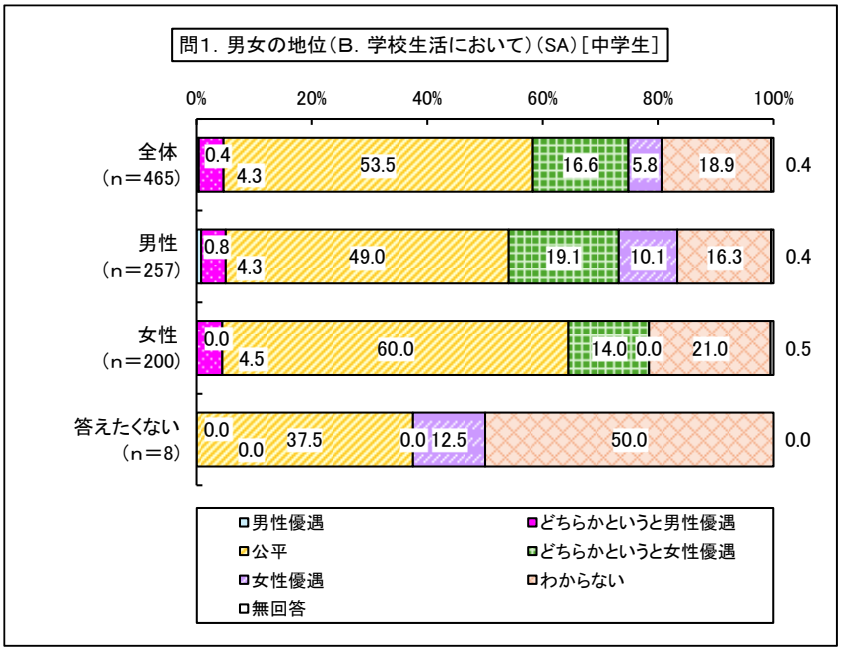
○高校生の家庭生活における男女の地位に対する意識は、「公平」67.4％が最も多く、約７割を占めています。次いで「わからない」12.4％となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「男性優遇」と「どちらかというと男性優遇」を合わせた割合は、男性7.7％、女性13.6％となっており、女性の割合が多くなっています。



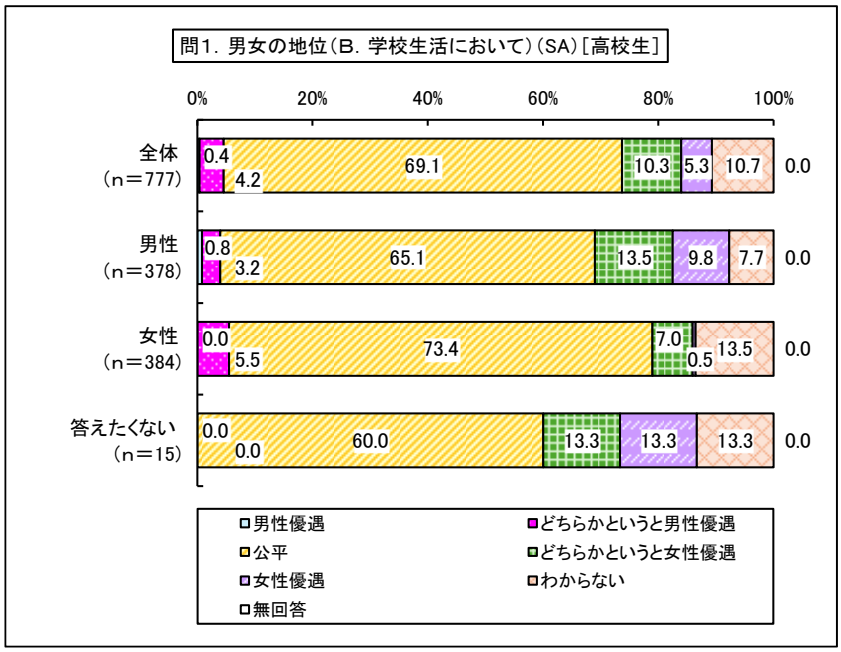
○中学生の学校生活における男女の地位については、「公平」53.5%が最も多く、５割を超えています。次いで「わからない」18.9%、「どちらかというと女性優遇」16.6%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「公平」は男性 49.0%、女性 60.0%となっており、女性の割合が多くなっています。



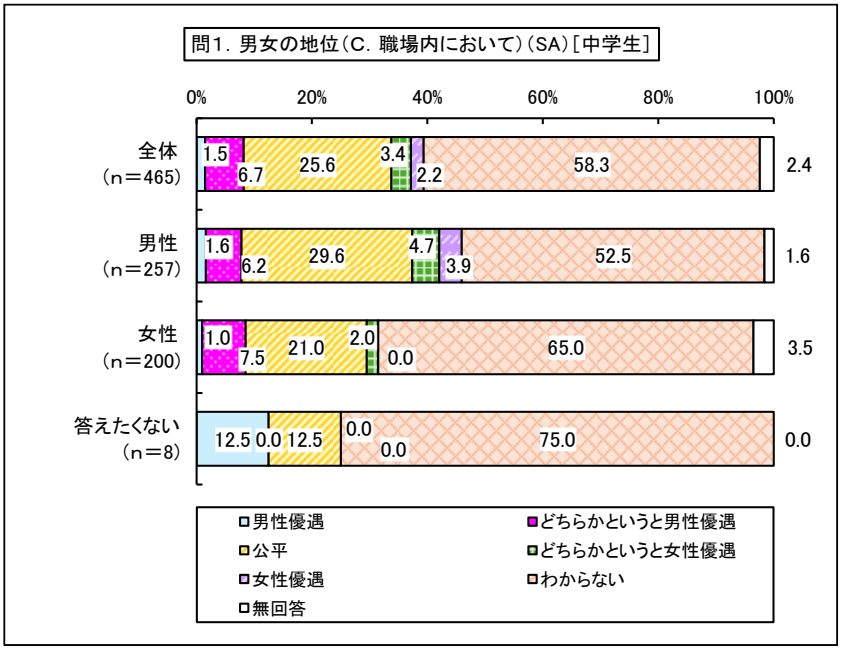
○高校生の学校生活における男女の地位については、「公平」69.1%が最も多く、約７割を占めています。また、「どちらかというと女性優遇」と「女性優遇」を合わせた割合は 15.6%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「公平」は男性 65.1%、女性 73.4%となっており、女性の割合が多くなっています。



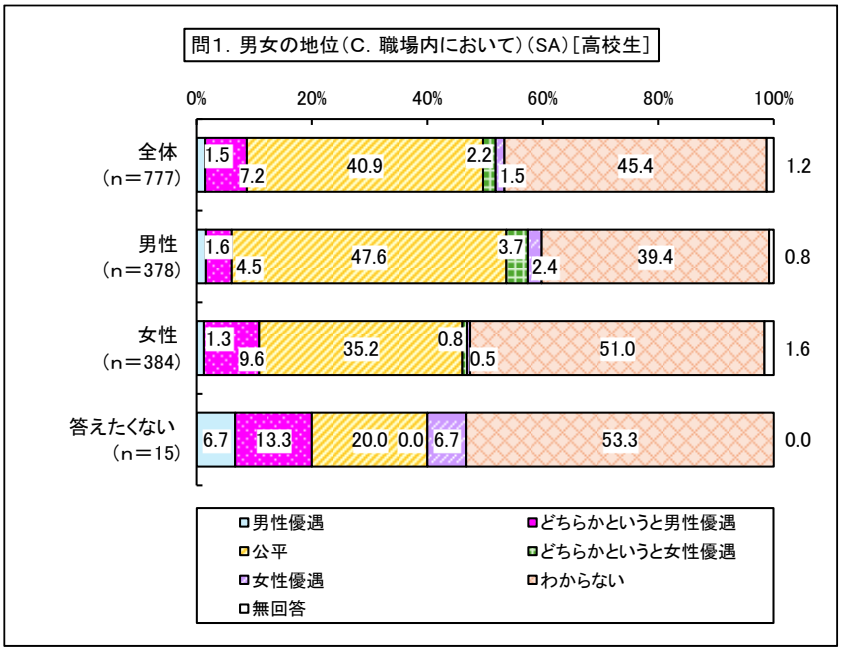
○中学生の職場内における男女の地位に対する意識は、「わからない」58.3%が最も多く、約６割を占めています。次いで「公平」25.6%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「わからない」は男性 52.5%、女性 65.0%となっており、女性の割合が多くなっています。

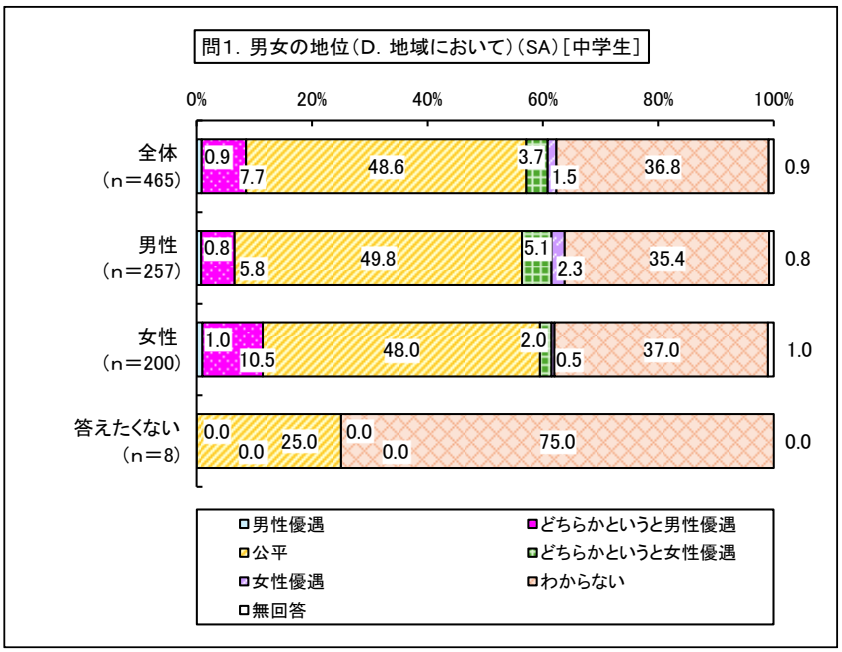


○高校生の職場内における男女の地位に対する意識は、「わからない」45.4%が最も多く、次いで「公平」40.9%となっています。

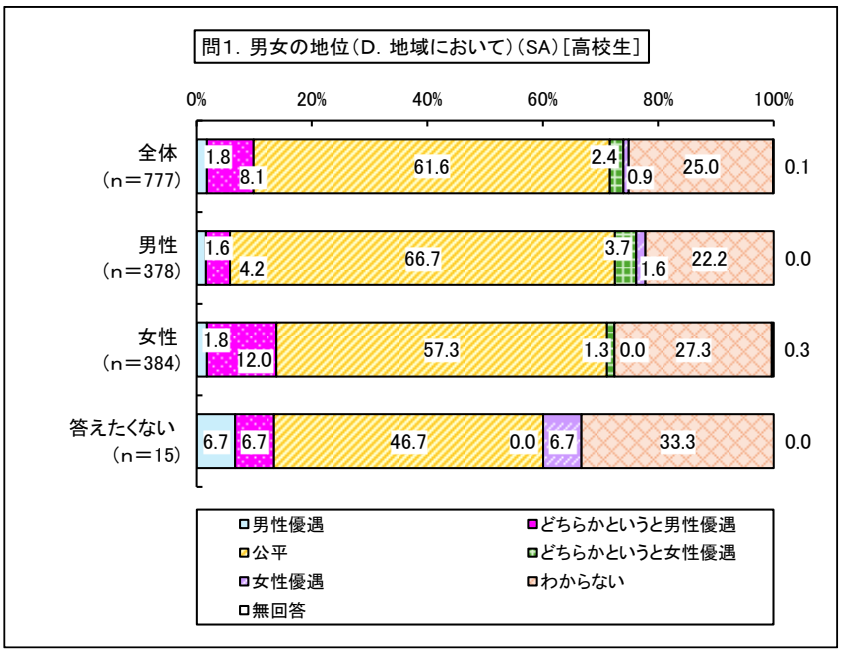
○高校生の回答を性別でみると、「わからない」は男性 39.4%、女性 51.0%となっており、女性の割合が多くなっています。一方、「公平」は男性 47.6%、女性 35.2%となっており、男性の割合が多くなっています。



○中学生の地域における男女の地位に対する意識は、「公平」48.6%が最も多く、次いで「わからない」36.8%となっています。
○中学生の回答を性別でみると、性別による大きな違いはみられません。

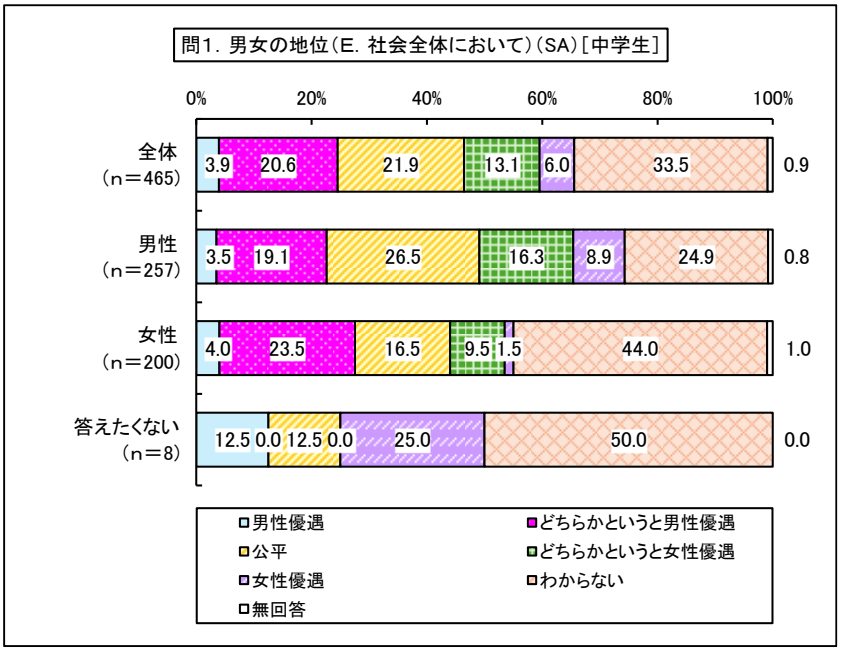


○高校生の地域における男女の地位に対する意識は、「公平」61.6%が最も多く、次いで「わからない」25.0%となっています。
○高校生の回答を性別でみると、「公平」は男性 66.7%、女性 57.3%となっており、男性の割合が多くなっています。



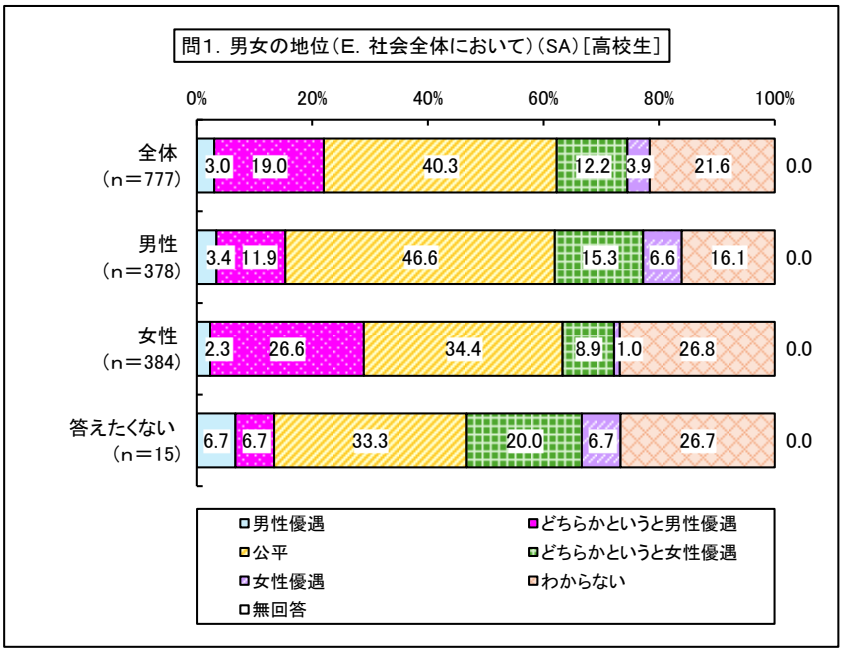
○中学生の社会全体における男女の地位については、「わからない」33.5%が最も多く、次いで「男性優遇」と「どちらかというと男性優遇」を合わせた「男性が優遇されている」が 24.5%、「公平」が 21.9%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「どちらかというと女性優遇」と「女性優遇」を合わせた割合は、男性の割合が多くなっています。



○高校生の社会全体における男女の地位については、「公平」40.3%が最も多くなっています。中学生の 21.9%に比べて多くなっています。

○高校生の回答を性別でみると、「男性優遇」と「どちらかというと男性優遇」を合わせた割合は、女性の割合が多くなっています。

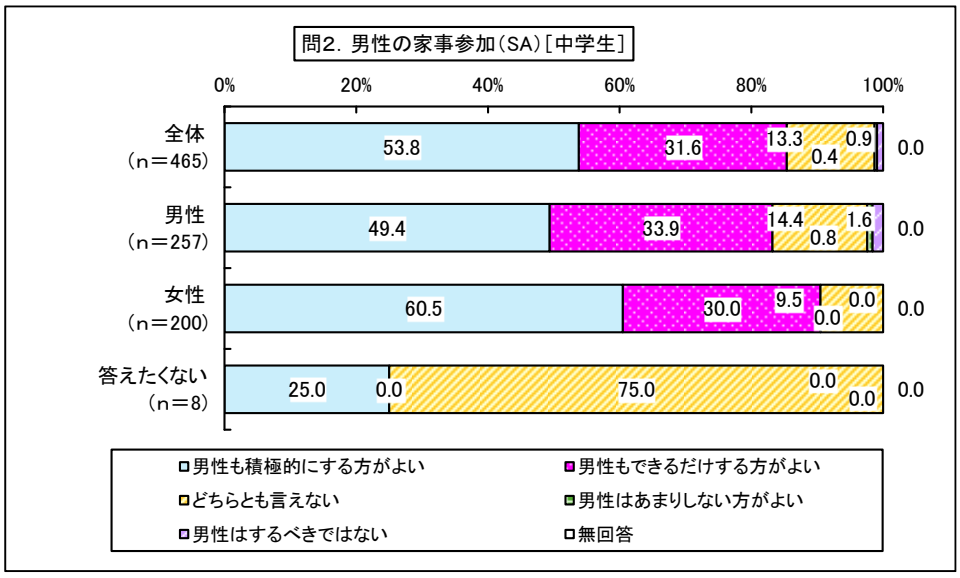


２）男性の家事参加

問２．男性が家事・育児・介護をすることについて、あなたはどう思いますか。
（○は１つ）

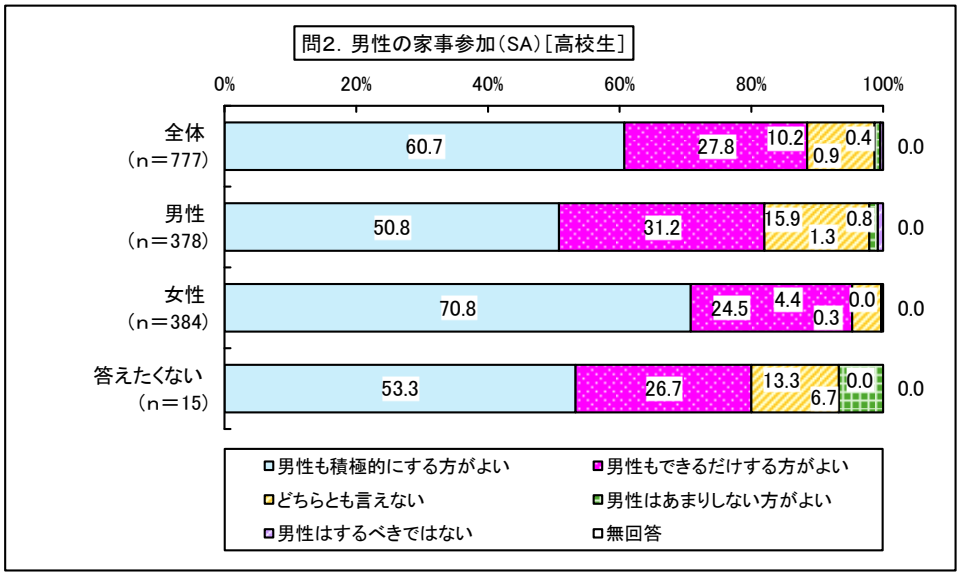
○中学生の男性の家事参加に対する意識は、「男性も積極的にする方がよい」53.8%が最も多く、次いで「男性もできるだけする方がよい」31.6%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「男性も積極的にする方がよい」は男性 49.4%、女性 60.5%となっており、女性の割合が多くなっています。



○高校生の男性の家事参加に対する意識は、「男性も積極的にする方がよい」60.7%が最も多く、次いで「男性もできるだけする方がよい」27.8%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「男性も積極的にする方がよい」は男性 50.8%、女性 70.8%となっており、女性の割合が多くなっています。

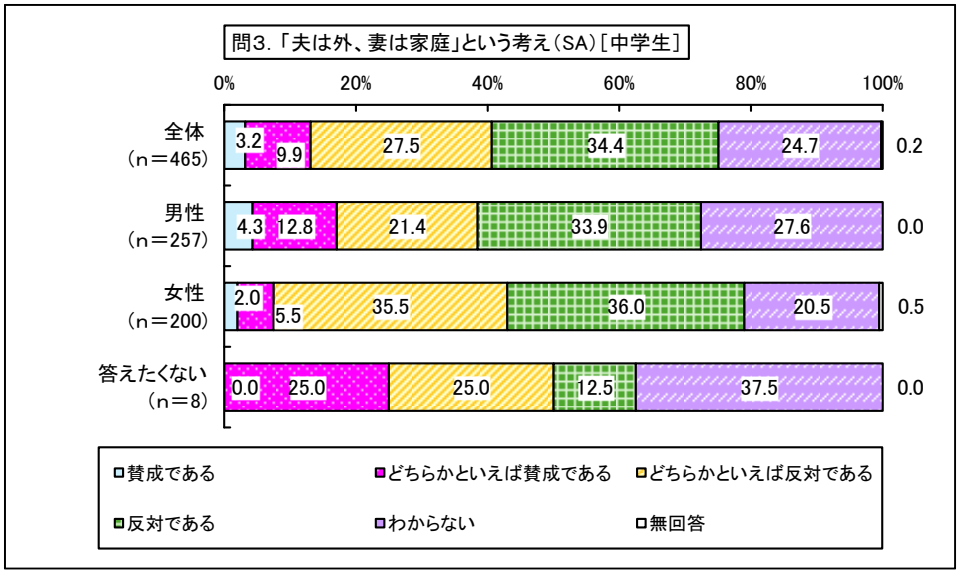


３）「夫は外、妻は家庭」という考え

問３．あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに賛成ですか、反対ですか。（○は１つ）

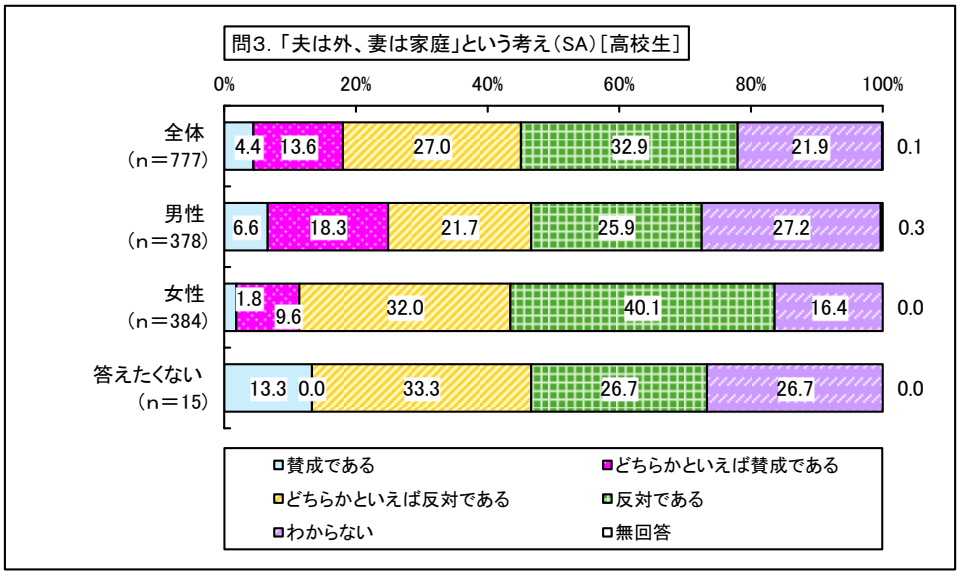
○中学生の「夫は外、妻は家庭」という考え方については、「反対である」34.4%が最も多く、次いで「どちらかといえば反対である」27.5%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「反対である」と「どちらかといえば反対である」を合わせた割合は、男性 55.3%、女性 71.5%となっており、女性の割合が多くなっています。



○高校生の「夫は外、妻は家庭」という考え方については、「反対である」32.9%が最も多く、次いで「どちらかといえば反対である」27.0%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「反対である」と「どちらかといえば反対である」を合わせた割合は、男性 47.6%、女性 72.1%となっており、女性の割合が多くなっています。

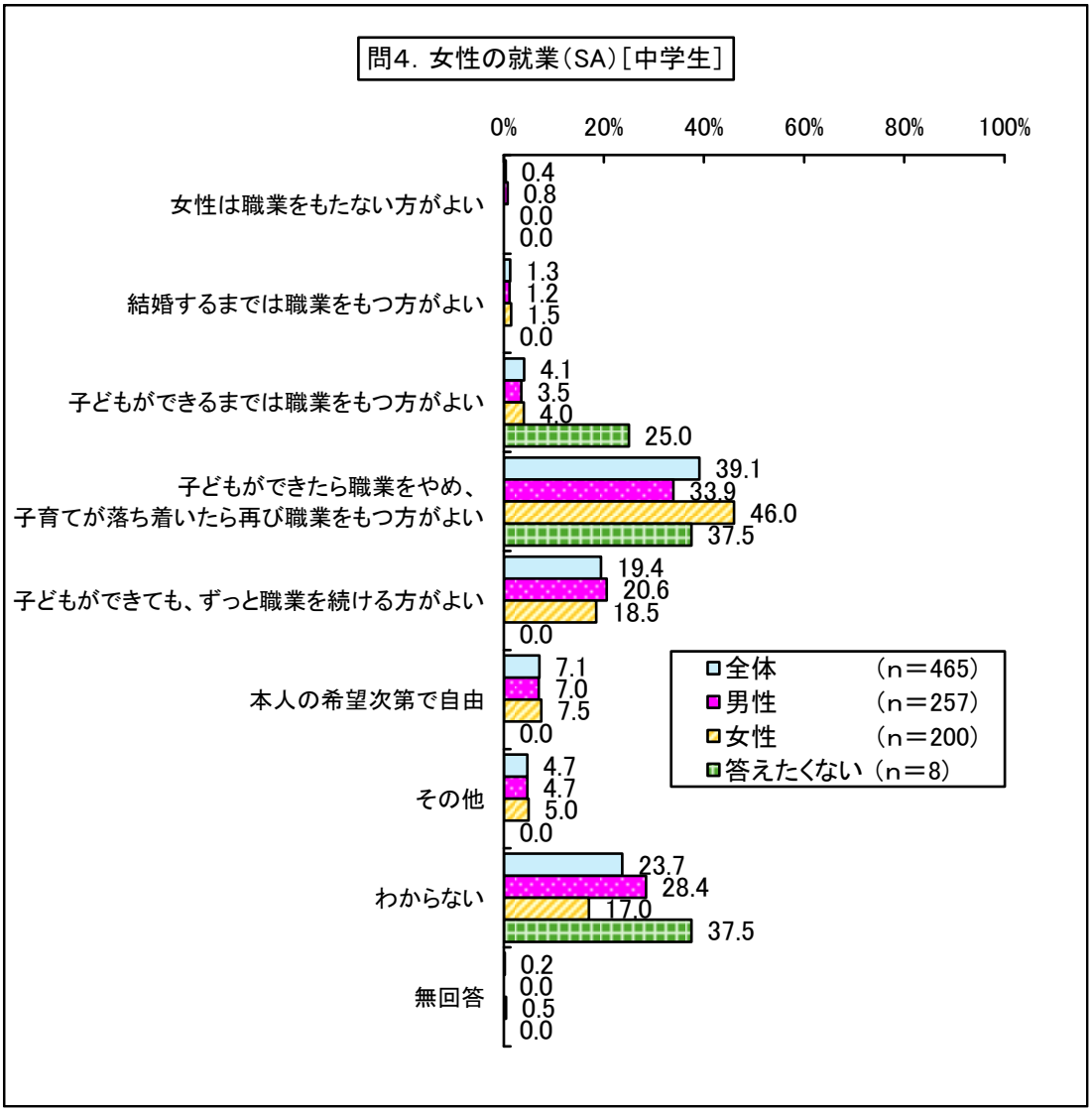


４）女性の就業

問４．女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。（○は１つ）

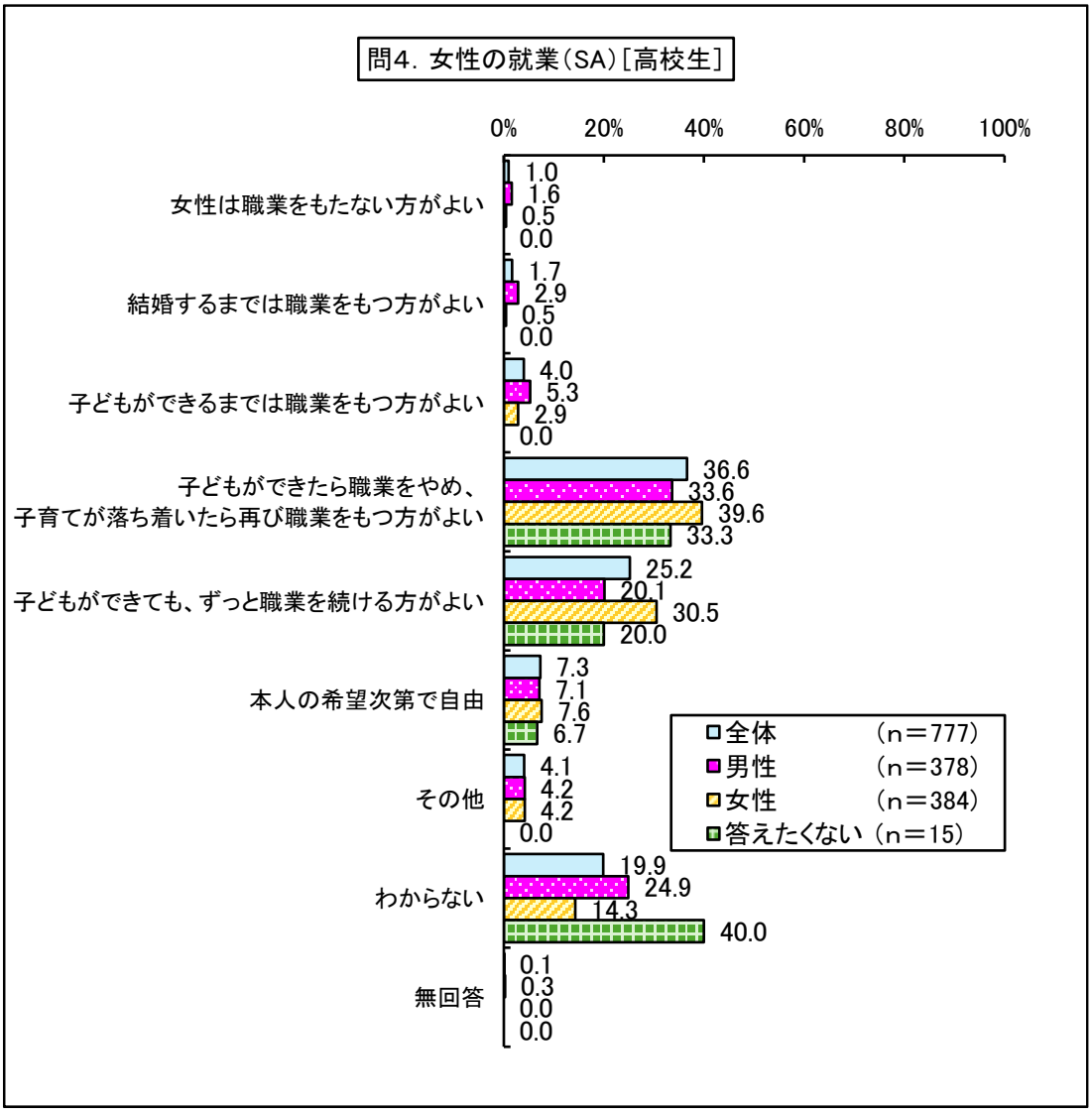
○中学生の女性の就業に対する考え方については、「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」39.1％が最も多く、次いで「わからない」23.7％、「子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい」19.4％となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」は男性 33.9％、女性 46.0％となっており、女性の割合が多くなっています。



○高校生の女性の就業に対する考え方については、「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」36.6%が最も多く、次いで「子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい」25.2%、「わからない」19.9%となっています。

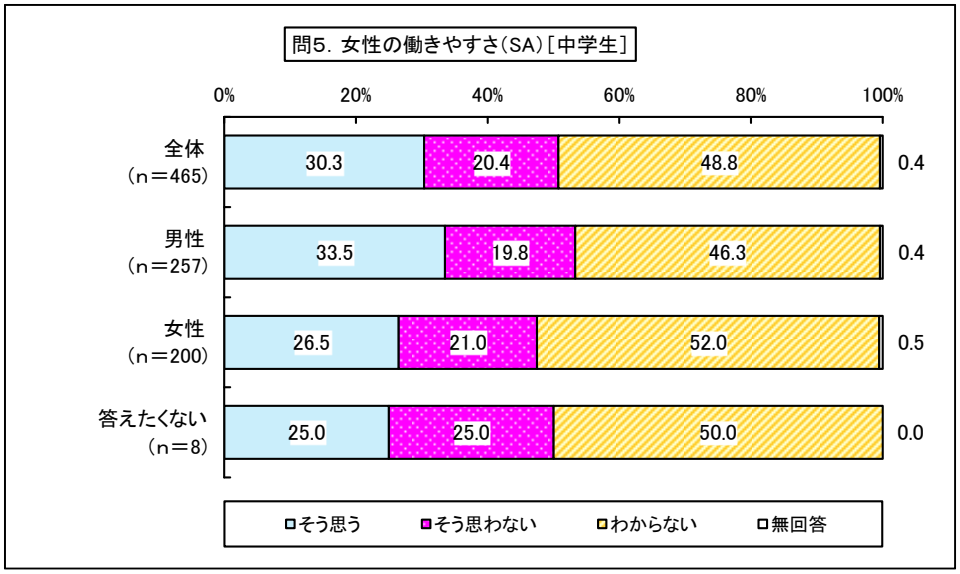
○高校生の回答を性別でみると、「子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい」は男性 20.1%、女性 30.5%となっており、女性の割合が多くなっています。



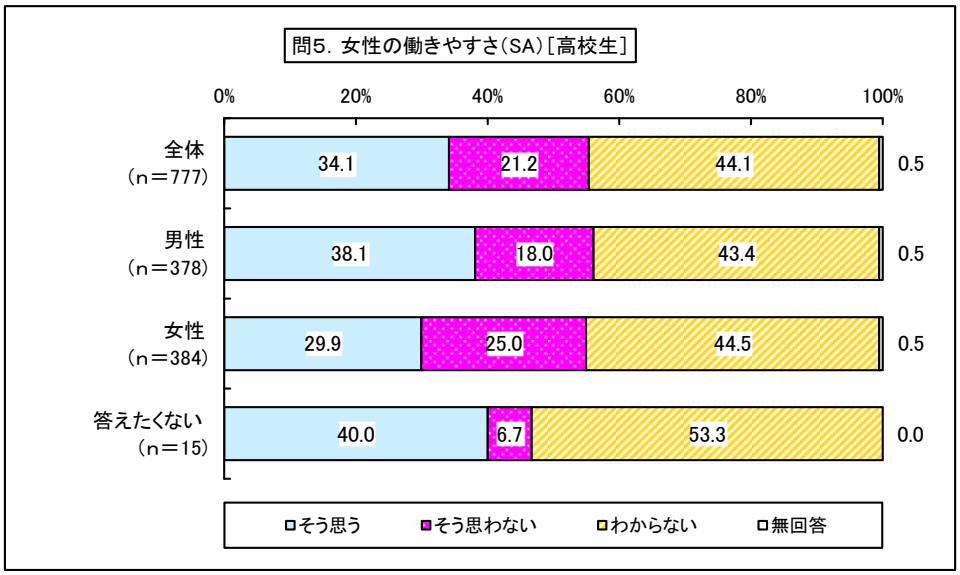
５）女性の働きやすさ

問５．あなたは現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。
（○は１つ）

○中学生の女性の働きやすさに対する意識については、「わからない」48.8%が最も多く、次いで「そう思う」30.3%、「そう思わない」20.4%となっています。
○中学生の回答を性別でみると、「そう思う」は男性 33.5%、女性 26.5%となっており、男性の割合が多くなっています。



○高校生の女性の働きやすさに対する意識については、「わからない」44.1%が最も多く、次いで「そう思う」34.1%、「そう思わない」21.2%となっています。
○高校生の回答を性別でみると、「そう思う」は男性 38.1%、女性 29.9%となっており、男性の割合が多くなっています。

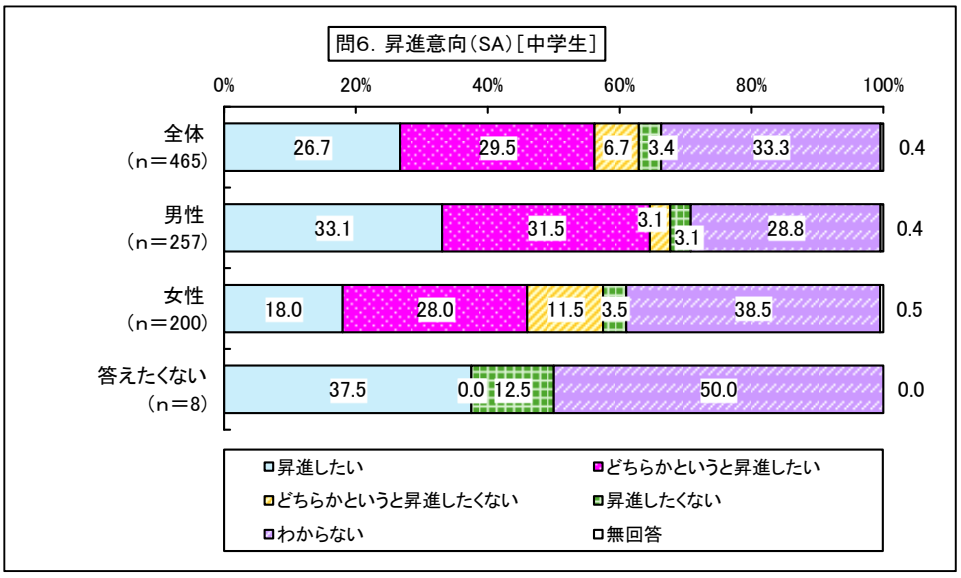


６）昇進意向

問６．あなたは、将来仕事についたとき、経営者や会社役員などの地位に昇進したいと思いますか。（○は１つ）

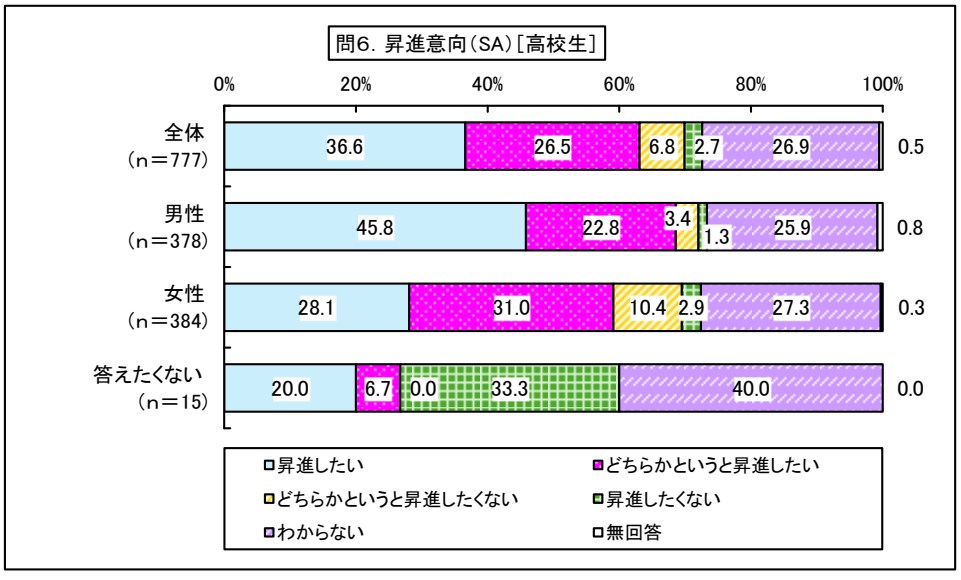
○中学生の将来の昇進に対する意向については、「わからない」33.3%が最も多く、次いで「どちらかというと昇進したい」29.5%、「昇進したい」26.7%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「昇進したい」と「どちらかというと昇進したい」を合わせた割合は、男性 64.6%、女性 46.0%となっております。



○高校生の将来の昇進に対する意向については、「昇進したい」36.6%が最も多く、次いで「わからない」26.9%、「どちらかというと昇進したい」26.5%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「昇進したい」と「どちらかというと昇進したい」を合わせた割合は、男性 68.6%、女性 59.1%となっており、男性の割合が多くなっています。

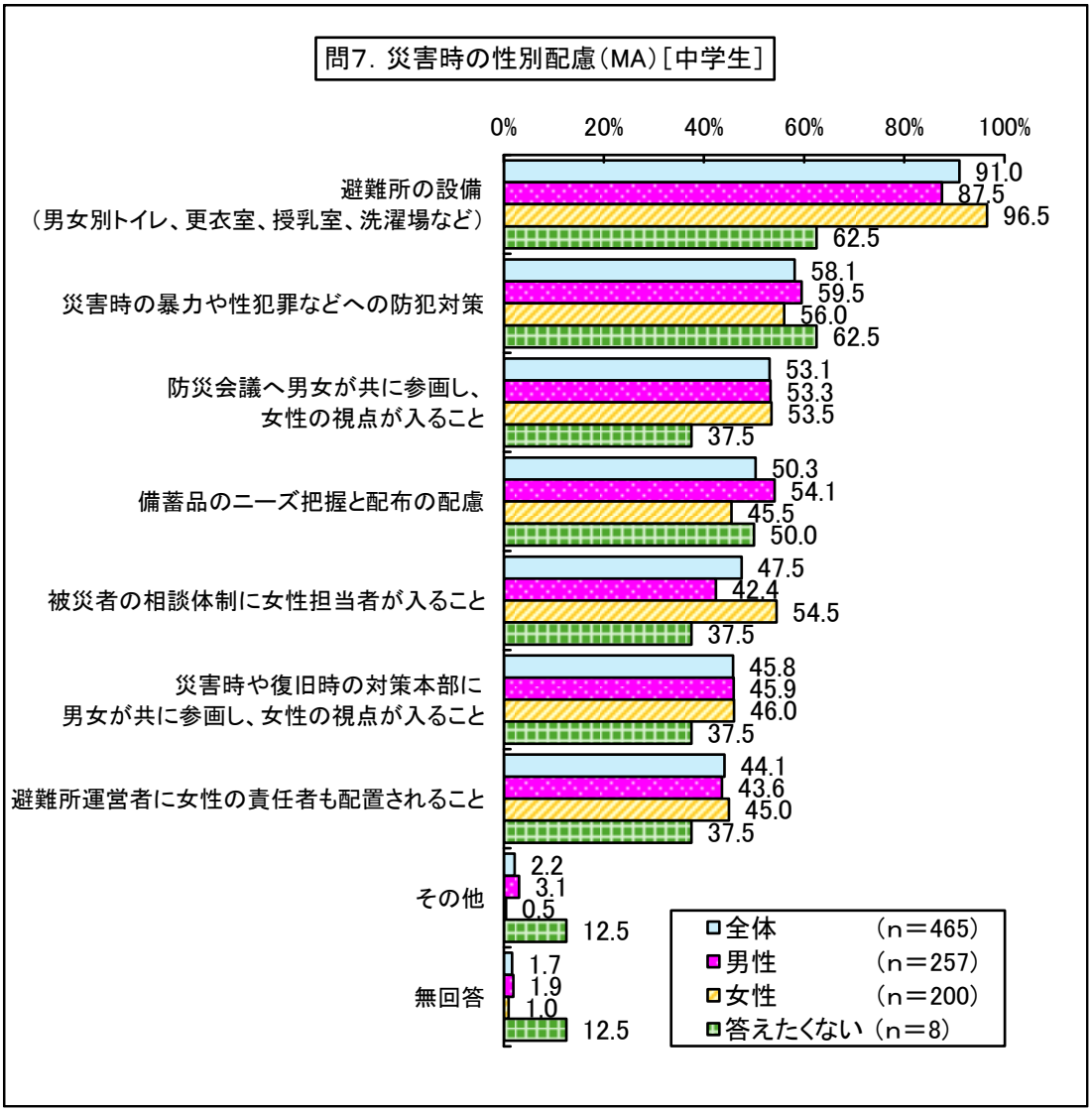


７）災害時の性別配慮

問７．地震や台風など災害に備えるために、男女の性別に配慮して取り組む必要があることは何だと思いますか。（○はいくつでも）

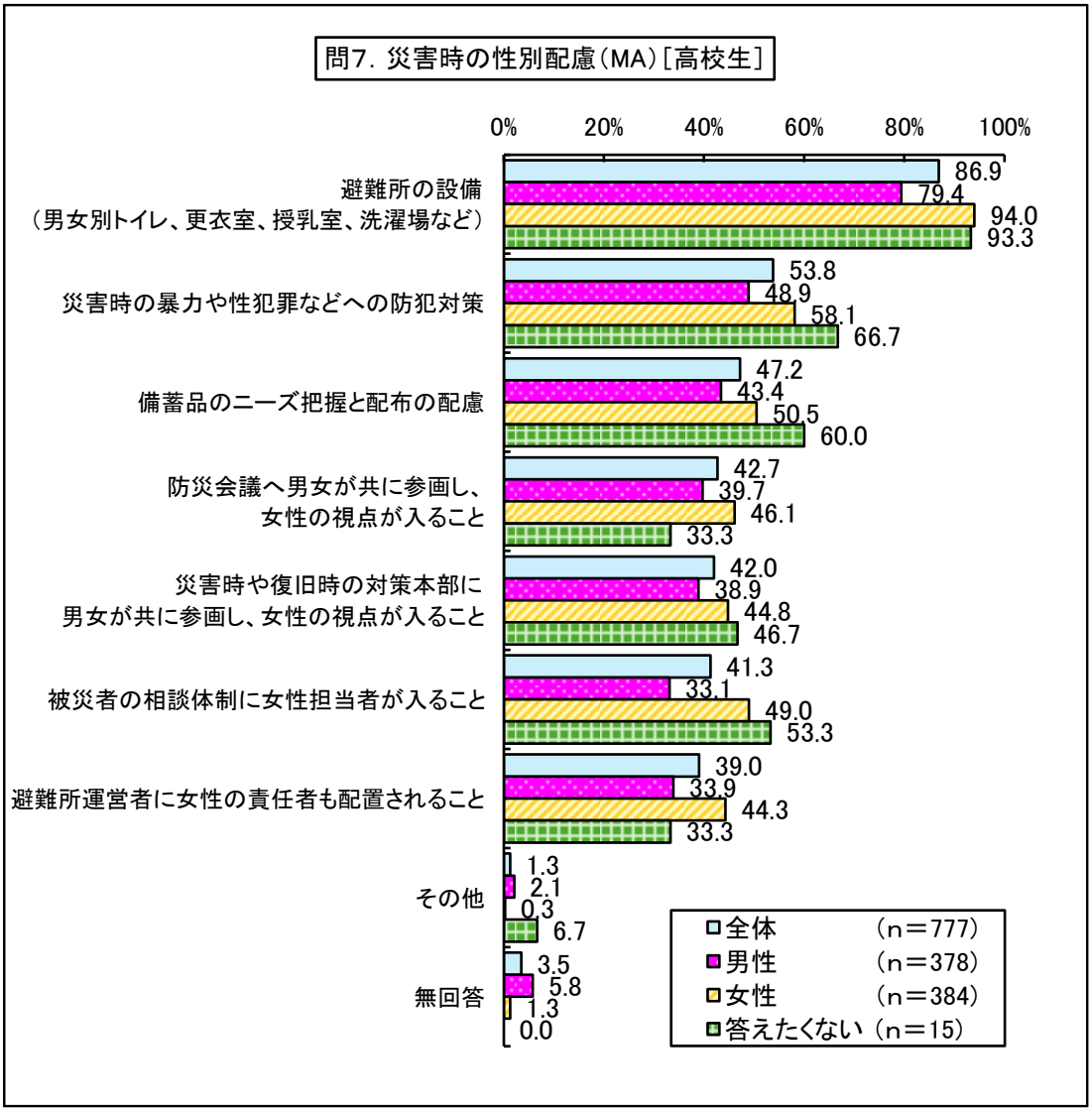
○中学生の災害時における性別への配慮については、「避難所の設備（男女別トイレ、更衣室、授乳室、洗濯場など）」91.0％が最も多く、次いで「災害時の暴力や性犯罪などへの防犯対策」58.1％、「防災会議へ男女が共に参画し、女性の視点が入ること」53.1％となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「被災者の相談体制に女性担当者が入ること」は男性 42.4％、女性 54.5％となっており、女性の割合が多くなっています。



○高校生の災害時における性別への配慮については、「避難所の設備（男女別トイレ、更衣室、授乳室、洗濯場など）」86.9%が最も多く、次いで「災害時の暴力や性犯罪などへの防犯対策」53.8%、「備蓄品のニーズ把握と配布の配慮」47.2%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「避難所の設備（男女別トイレ、更衣室、授乳室、洗濯場など）」は男性 79.4%、女性 94.0%となっており、女性の割合が多くなっています。

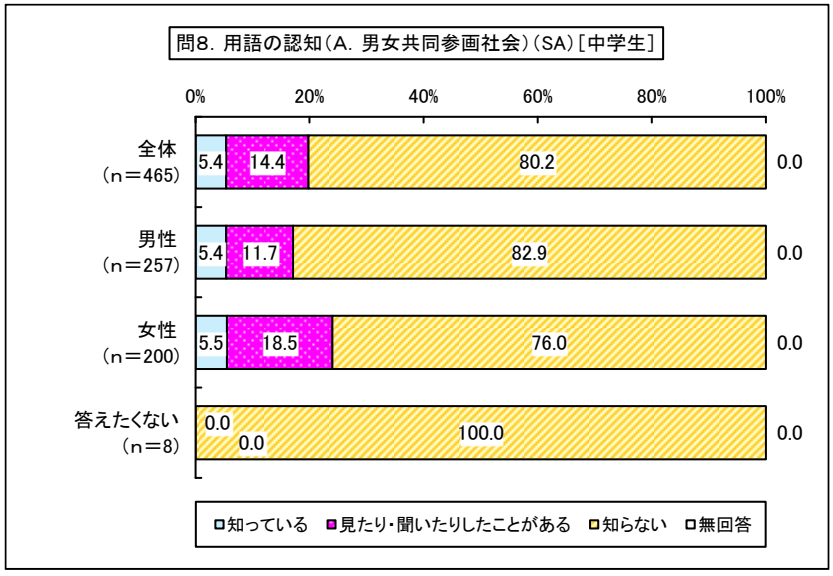


８）用語の認知

問８．次のＡからＨの言葉について、それぞれ１～３のうち１つに○をつけてお選びください。（Ａ～Ｈについて○はそれぞれ１つ）

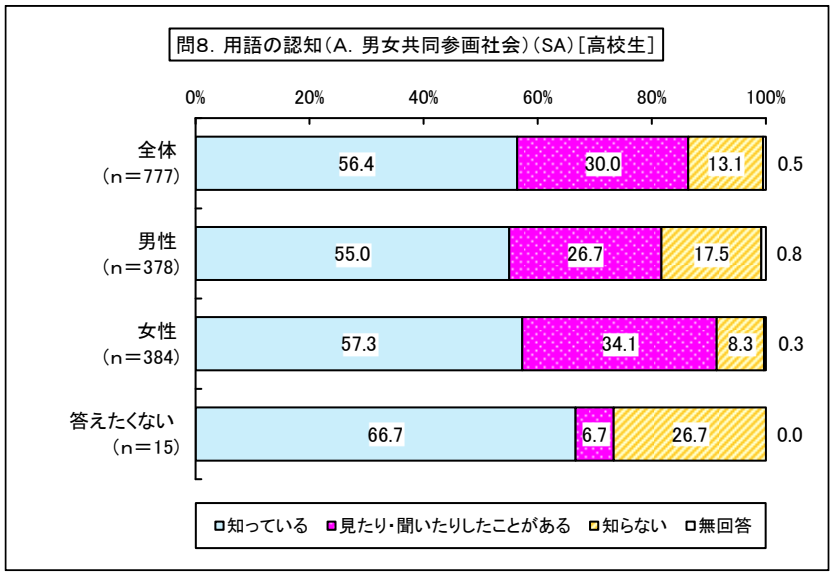
○中学生の「男女共同参画社会」という言葉の認知状況については、「知らない」80.2%が最も多く、８割を超えています。

○中学生の回答を性別でみると、「知らない」は男性 82.9%、女性 76.0%となっており、男性の割合が多くなっています。



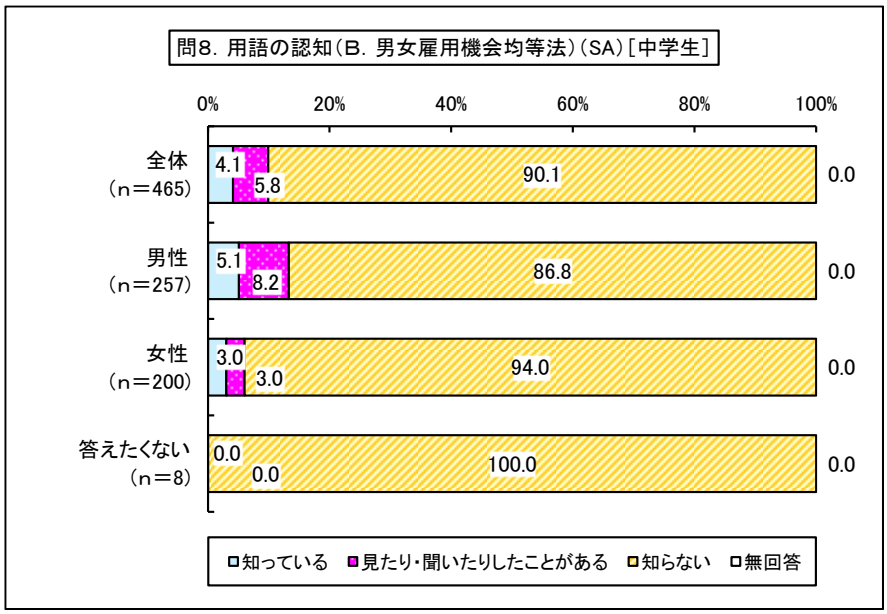
○高校生の「男女共同参画社会」という言葉の認知状況については、「知っている」56.4%が最も多くなっています。

○高校生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、女性の割合が多くなっています。



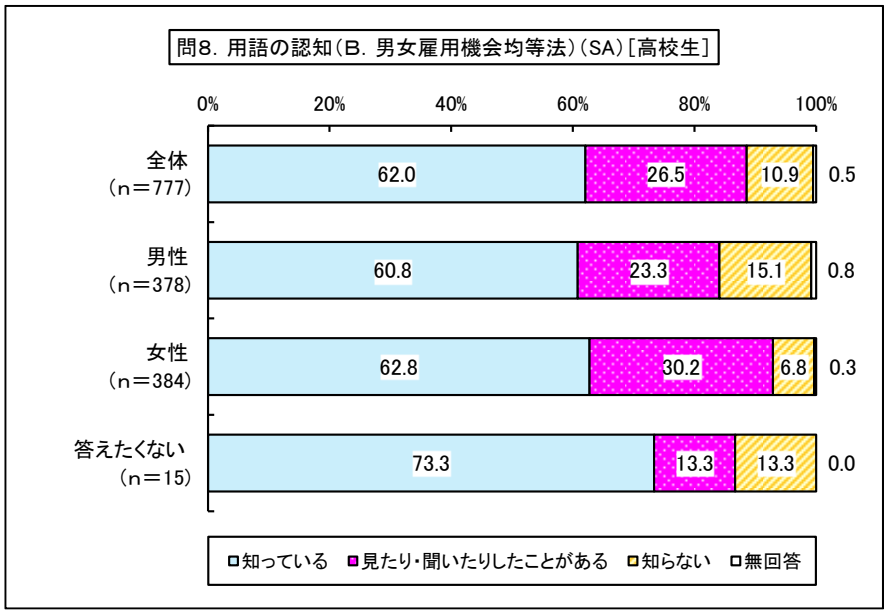
○中学生の「男女雇用機会均等法」という言葉の認知状況については、「知らない」90.1%が最も多く、約９割を占めています。

○中学生の回答を性別でみると、「知らない」は男性 86.8%、女性 94.0%となっており、女性の割合が多くなっています。



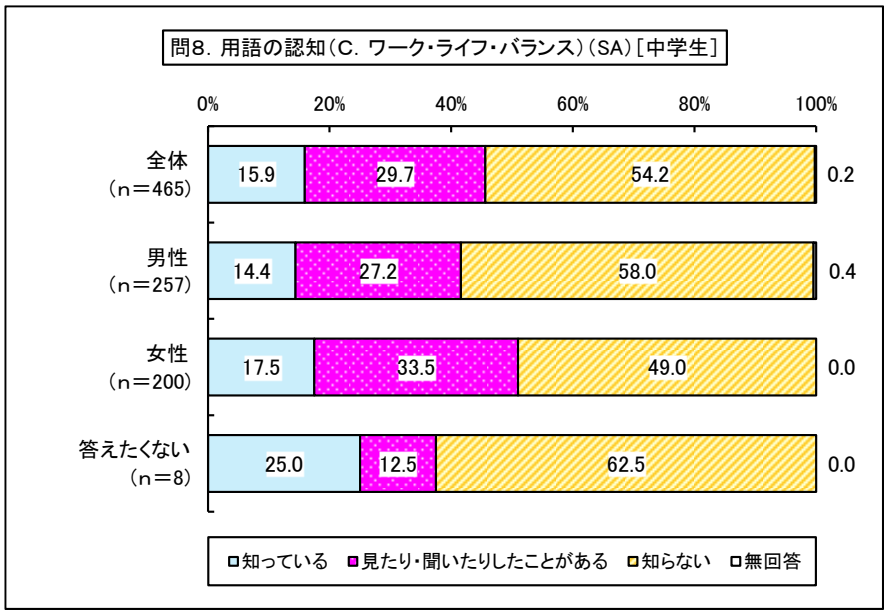
○高校生の「男女雇用機会均等法」という言葉の認知状況については、「知っている」62.0%が最も多く、次いで「見たり・聞いたりしたことがある」26.5%となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は約９割を占めています。

○高校生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 84.1%、女性 93.0%となっており、女性の割合が多くなっています。



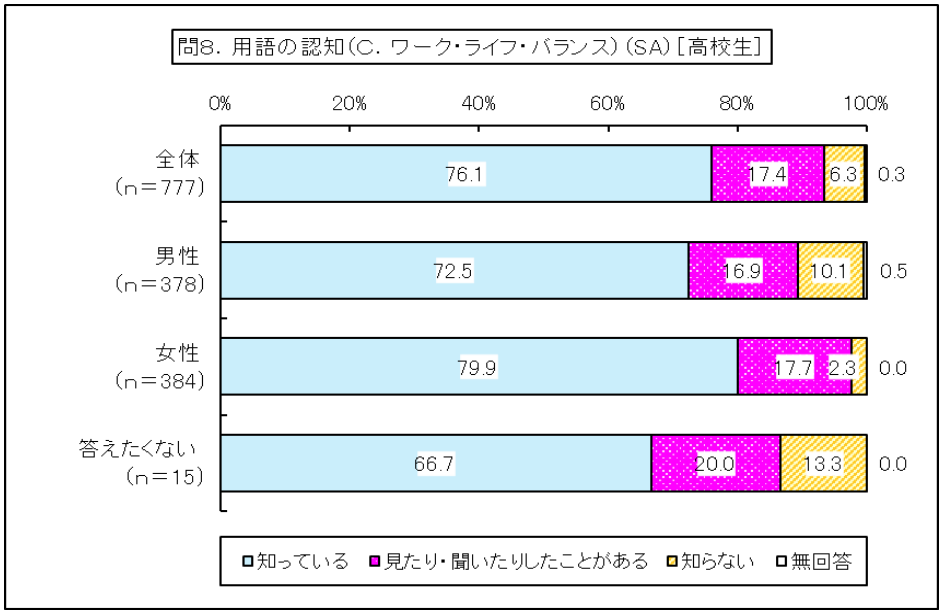
○中学生の「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知状況については、「知らない」54.2%が最も多くなっています。

○学生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 41.6%、女性 51.0%となっており、女性の割合が多くなっています。

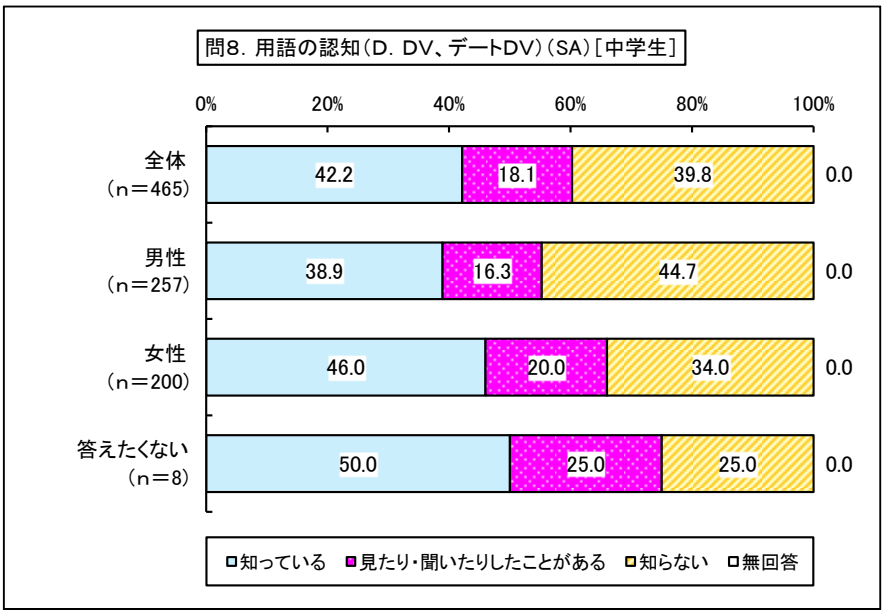


○高校生の「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知状況については、「知っている」76.1%が最も多く、次いで「見たり・聞いたりしたことがある」17.4%となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は９割を超えています。

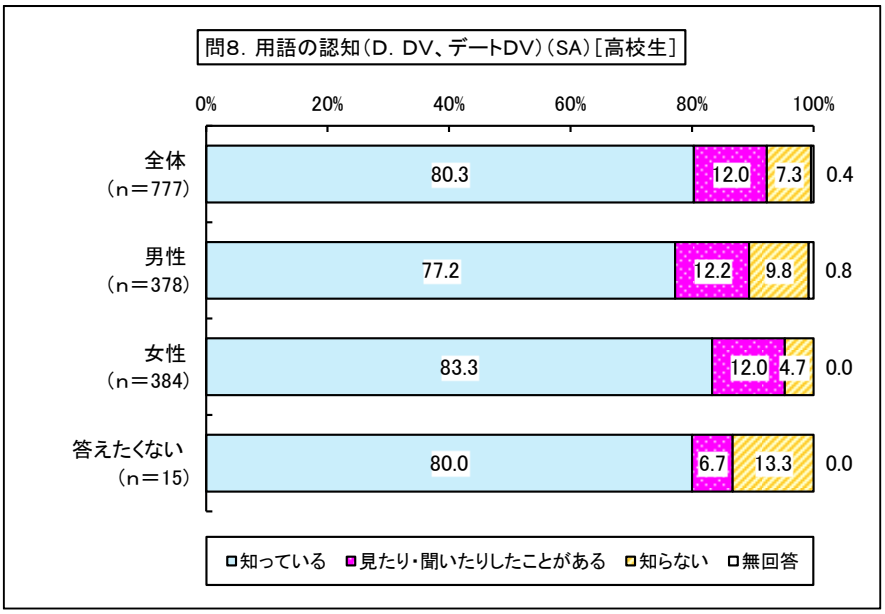
○高校生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 89.4%、女性 97.6%となっており、女性の割合が多くなっています。



○中学生の「ＤＶ・デートＤＶ」という言葉の認知状況については、「知っている」42.2％が最も多く、次いで「知らない」39.8％となっています。
○中学生の回答を性別でみると、「知らない」は男性 44.7％、女性 34.0％となっており、男性の割合が多くなっています。

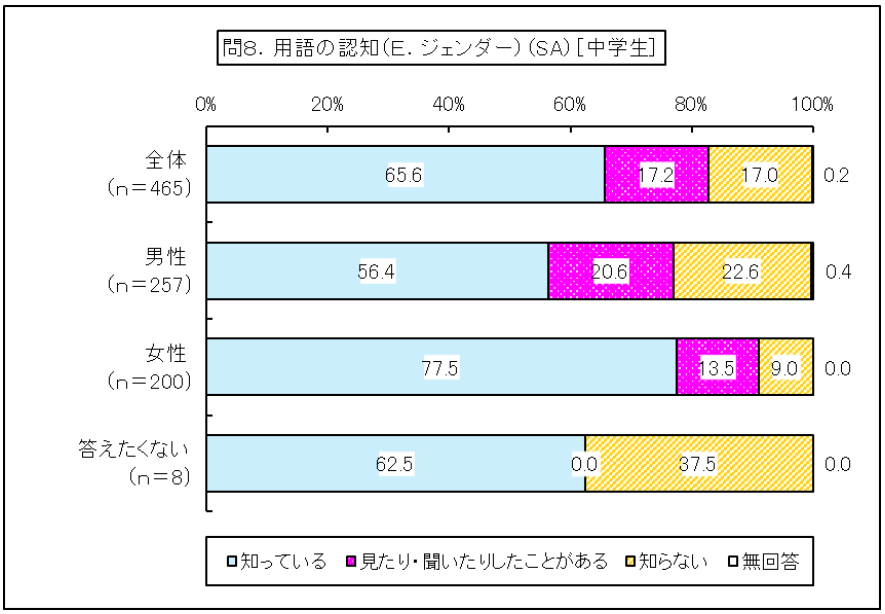


○高校生の「ＤＶ・デートＤＶ」という言葉の認知状況については、「知っている」80.3％が最も多く、次いで「見たり・聞いたりしたことがある」12.0％となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は９割を超えています。
○高校生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 89.4％、女性 95.3％となっており、女性の割合が多くなっています。



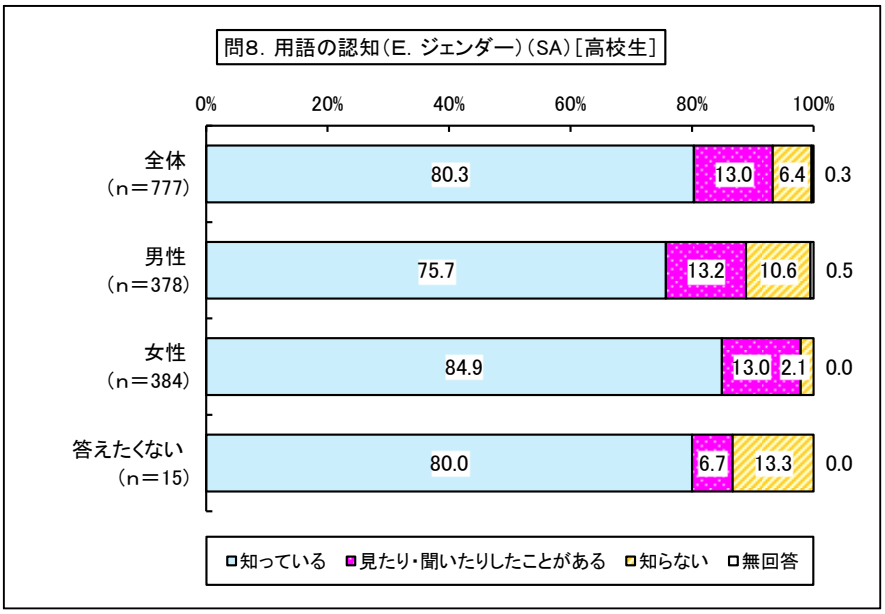
○中学生の「ジェンダー」という言葉の認知状況については、「知っている」65.6%が最も多く、次いで「見たり・聞いたりしたことがある」17.2%となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、８割を超えています。

○中学生の回答を性別でみると、「知っている」は男性 56.4%、女性 77.5%となっており、女性の割合が多くなっています。



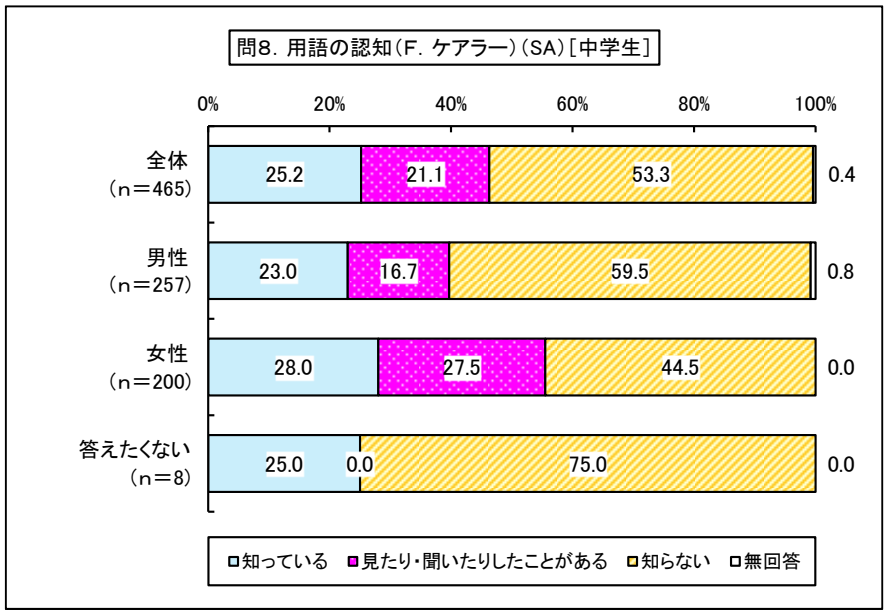
○高校生の「ジェンダー」という言葉の認知状況については、「知っている」80.3%が最も多く、次いで「見たり・聞いたりしたことがある」13.0%となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は９割を超えています。

○高校生の回答を性別でみると、「知っている」は男性 75.7%、女性 84.9%となっており、女性の割合が多くなっています。



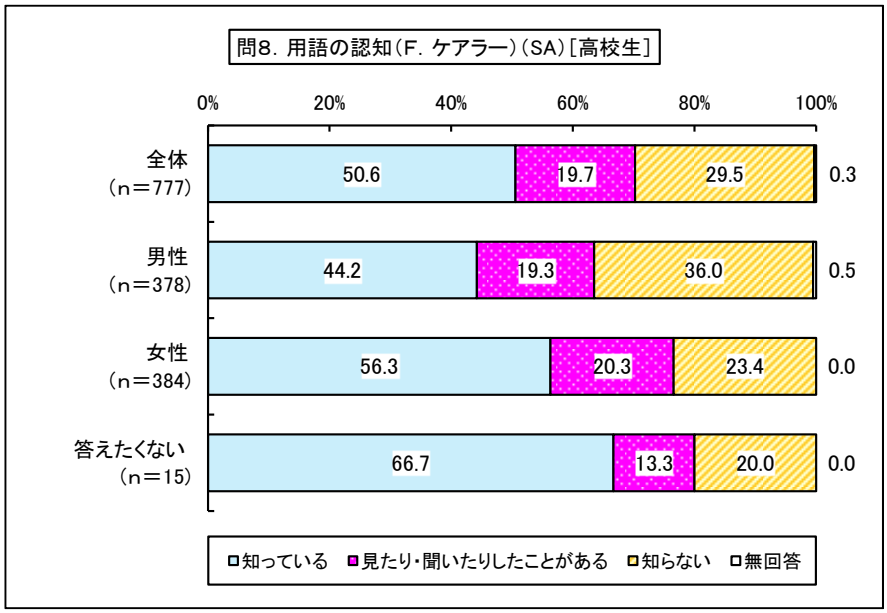
○中学生の「ケアラー」という言葉の認知状況については、「知らない」53.3%が最も多く、次いで「知っている」25.2%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 39.7%、女性 55.5%となっており、女性の割合が多くなっています。



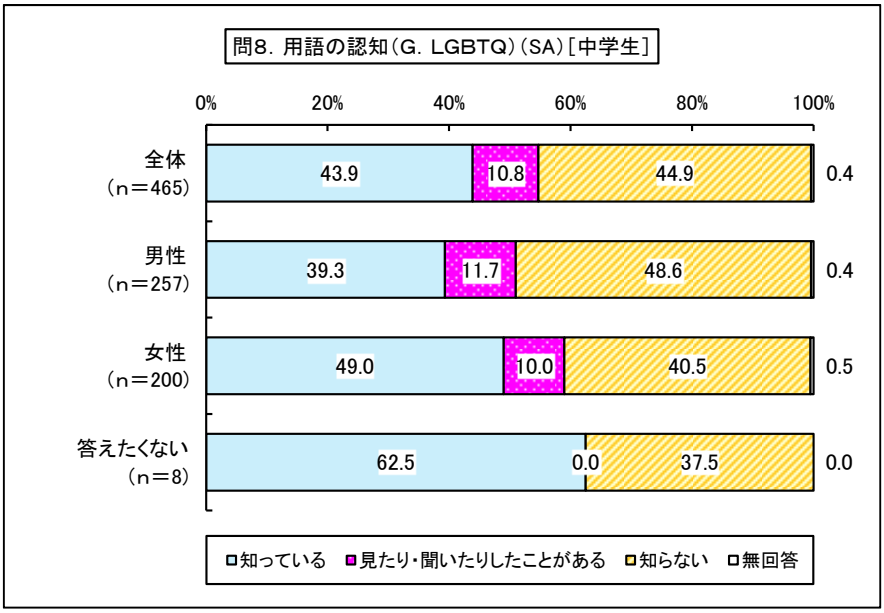
○高校生の「ケアラー」という言葉の認知状況については、「知っている」50.6%が最も多く、次いで「知らない」29.5%、「見たり・聞いたりしたことがある」19.7%となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は約７割となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 63.5%、女性 76.6%となっており、女性の割合が多くなっています。



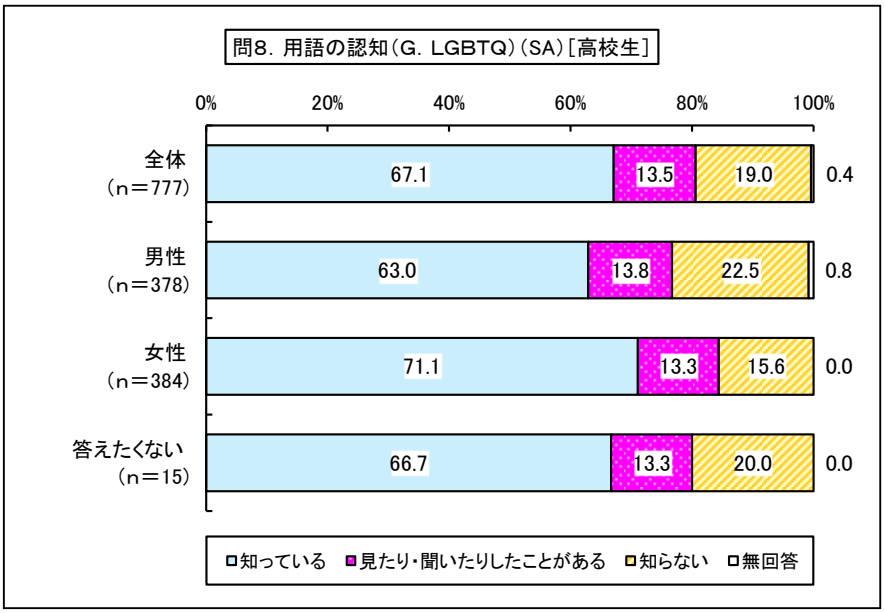
○中学生の「ＬＧＢＴＱ」という言葉の認知状況については、「知らない」44.9%が最も多く、次いで「知っている」43.9%、「見たり・聞いたりしたことがある」10.8%となっています。「知っている」と「知らない」は、ほぼ同程度となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 51.0%、女性 59.0%となっており、女性の割合が多くなっています。



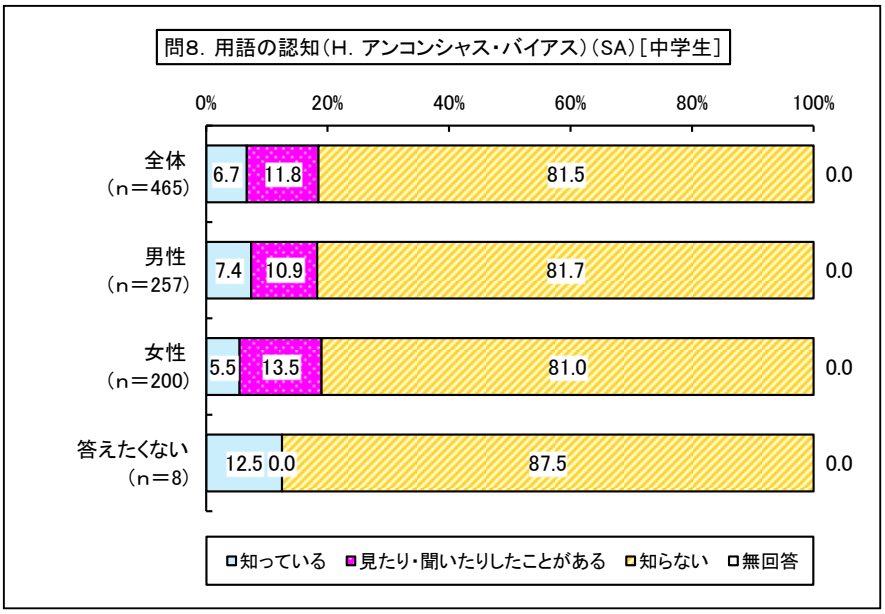
○高校生の「ＬＧＢＴＱ」という言葉の認知状況については、「知っている」67.1%が最も多く、次いで「知らない」19.0%となっています。「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は８割を超えています。

○高校生の回答を性別でみると、「知っている」と「見たり・聞いたりしたことがある」を合わせた割合は、男性 76.8%、女性 84.4%となっており、女性の割合が多くなっています。



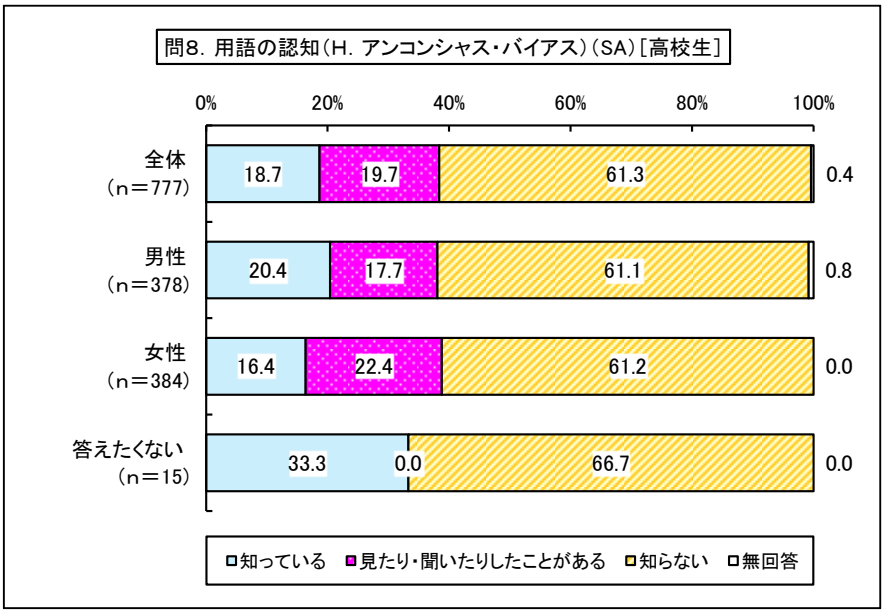
○中学生の「アンコンシャス・バイアス」という言葉の認知状況については、「知らない」81.5%が最も多くなっています。

○中学生の回答を性別でみると、大きな違いはみられません。



○高校生の「アンコンシャス・バイアス」という言葉の認知状況については、「知らない」61.3%が最も多く、次いで「見たり・聞いたりしたことがある」19.7%、「知っている」18.7%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、大きな違いはみられません。

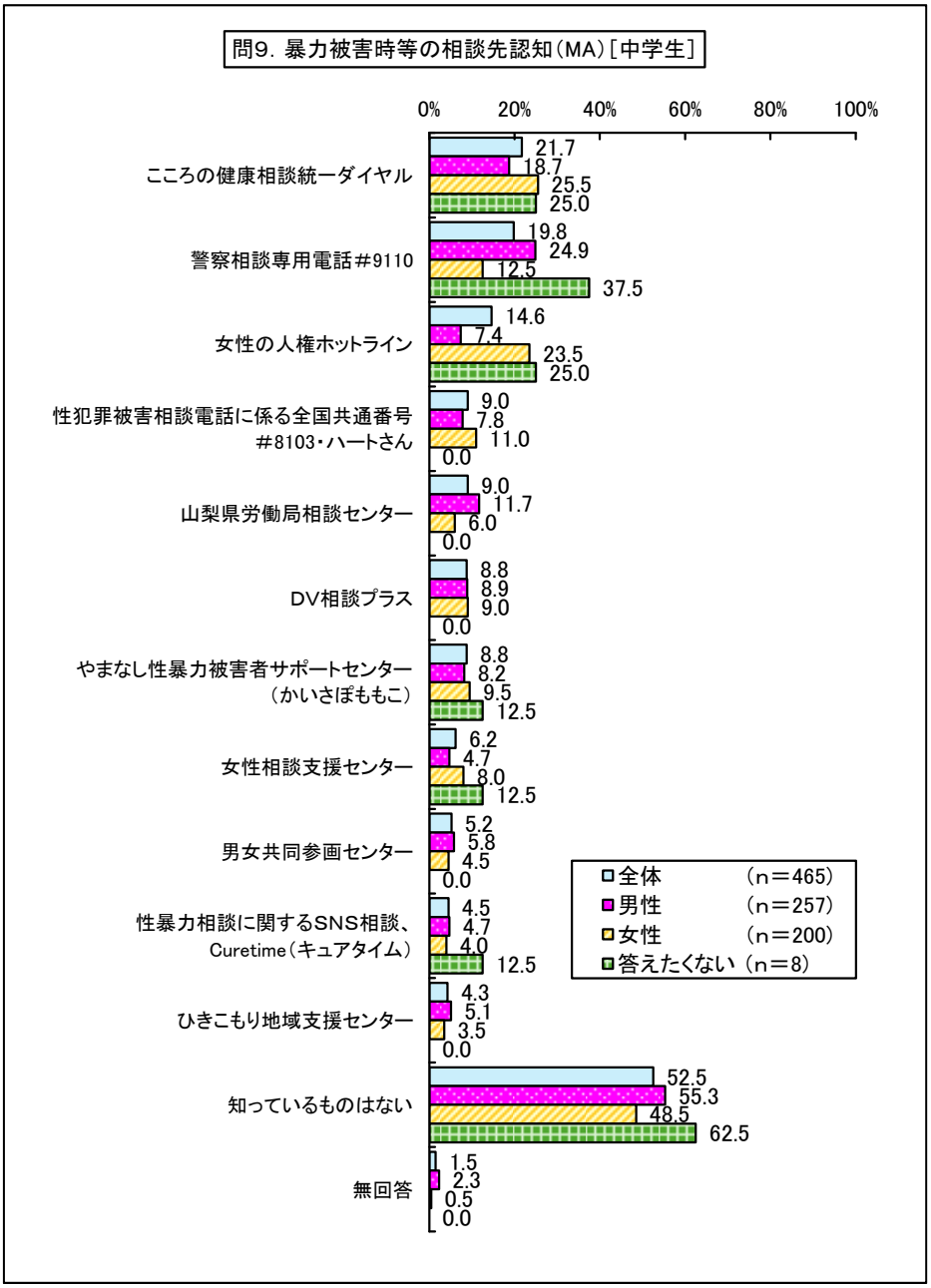


９）暴力被害時等の相談先認知

問９．DV や性暴力の被害やそれに関する悩みを相談できる窓口などについて、あなたが知っているものをあげてください。（○はいくつでも）

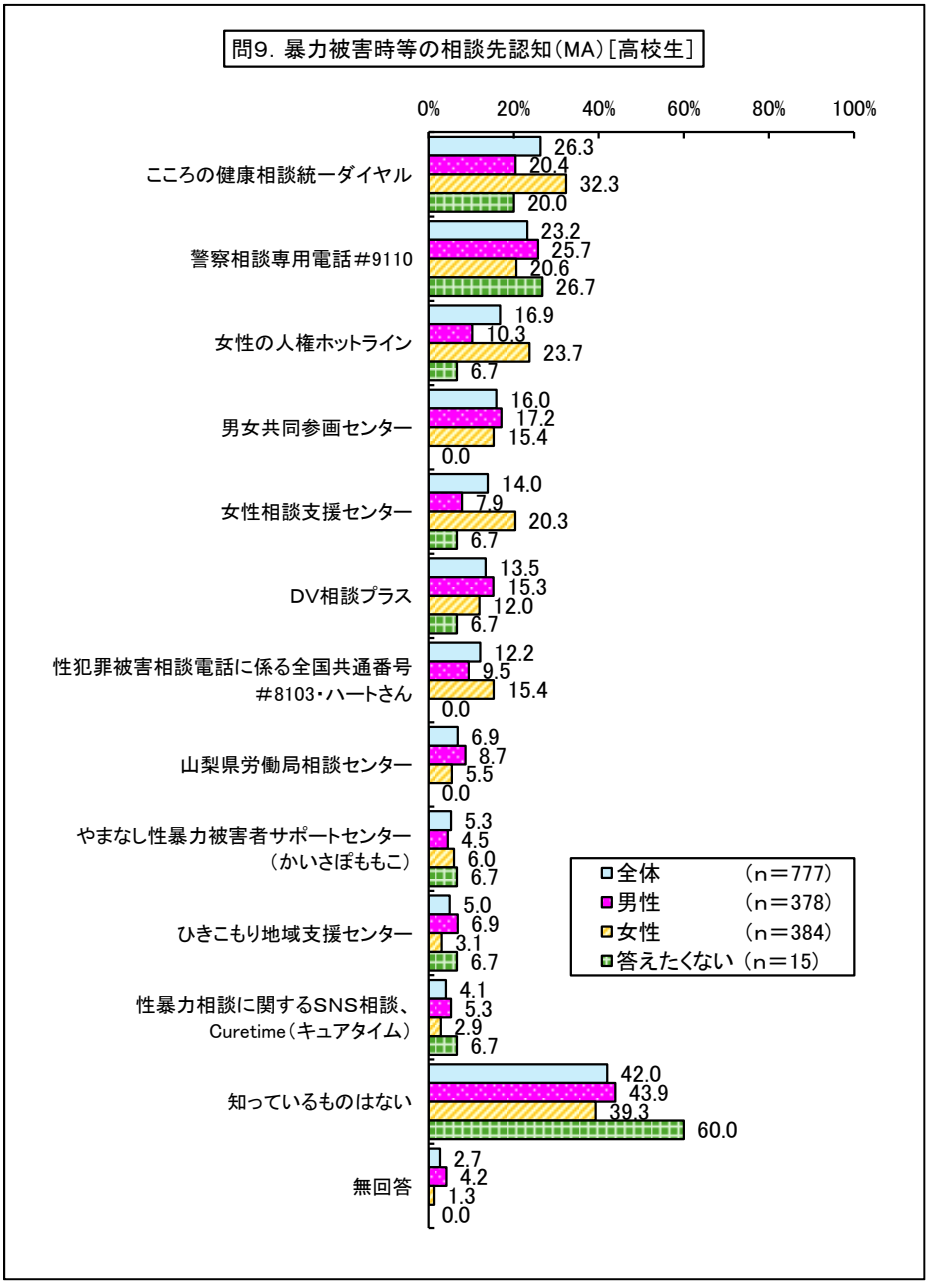
○中学生の暴力被害時等の相談先の認知状況については、「知っているものはない」52.5%が最も多く、半数を超えています。知っている相談先では、「こころの健康相談ダイヤル」21.7%が最も多く、次いで「警察相談専用電話＃9110」19.8%、「女性の人権ホットライン」14.6%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、相談窓口では、男性は「警察相談専用電話＃9110」24.9%、女性は「こころの健康相談統一ダイヤル」25.5%が最も多くなっています。



○高校生の暴力被害時等の相談先の認知は、「知っているものはない」42.0%が最も多くなっています。相談先では、「こころの健康相談統一ダイヤル」26.3%、次いで「警察相談専用電話＃9110」23.2%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、相談窓口では、男性は「警察相談専用電話＃9110」25.7%、女性は「こころの健康相談統一ダイヤル」32.3%が最も多くなっています。

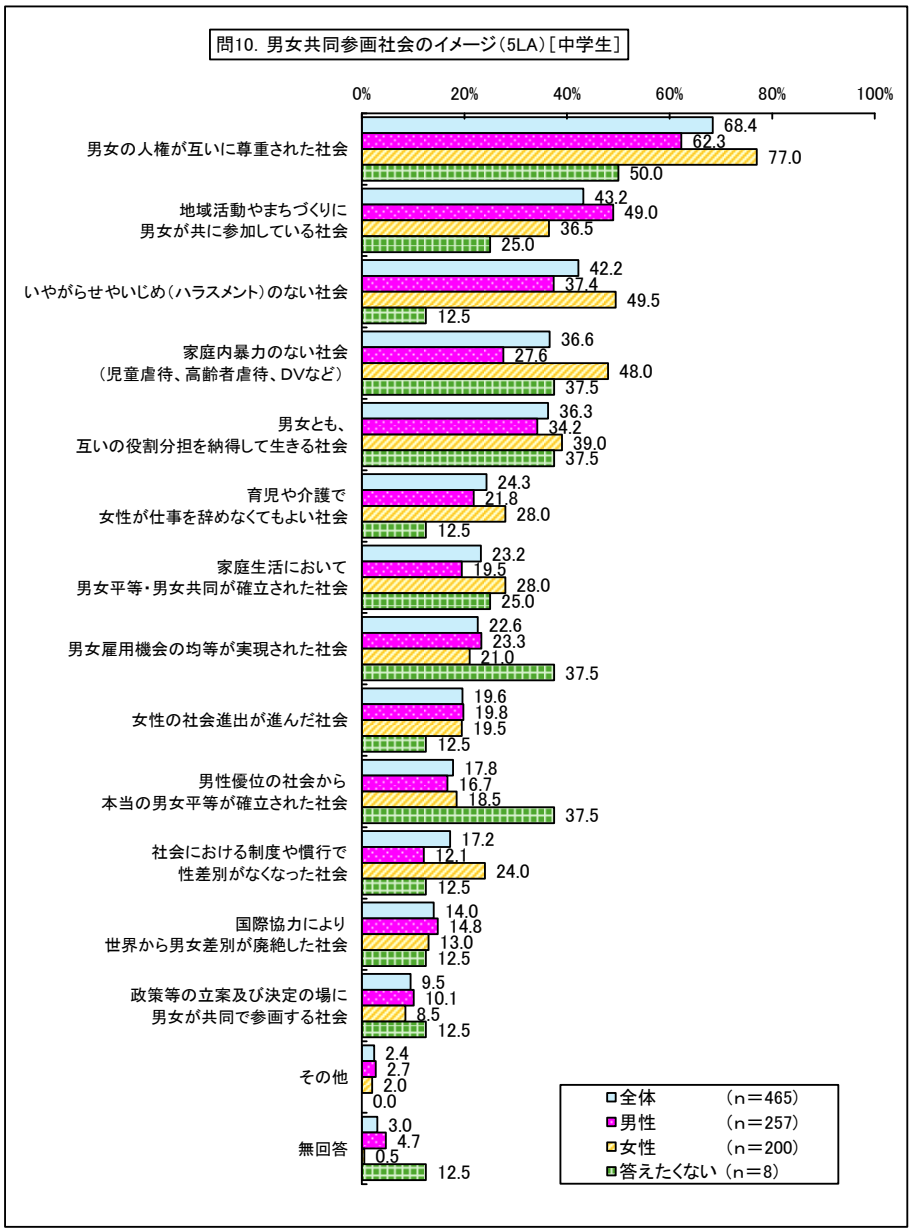


10）男女共同参画社会のイメージ

問 10. あなたが思う男女共同参画社会とは、どんな社会だと思いますか。次の中からあなたの考えに近い社会を選んでください。（○は５つまで）

○中学生の男女共同参画社会のイメージについては、「男女の人権が互いに尊重された社会」68.4%が最も多く、次いで「地域活動やまちづくりに男女が共に参加している社会」43.2%、「いやがらせやいじめ（ハラスメント）のない社会」42.2%となっています。

○中学生の回答を性別でみると、「地域活動やまちづくりに男女が共に参加している社会」は男性 49.0%、女性 36.5%となっており、男性の割合が多くなっています。一方、「家庭内暴力のない社会（児童虐待、高齢者虐待、DV など）」は男性 27.6%、女性 48.0%となっており、女性の割合が多くなっています。



○高校生の男女共同参画社会のイメージについては、「男女の人権が互いに尊重された社会」62.8%が最も多く、次いで「地域活動やまちづくりに男女が共に参加している社会」47.7%、「男女雇用機会の均等が実現された社会」31.4%となっています。

○高校生の回答を性別でみると、「男女の人権が互いに尊重された社会」は男性 57.4%、女性 68.0%、「育児や介護で女性が仕事を辞めなくてもよい社会」は男性 20.9%、女性 31.5%となっており、いずれも女性の割合が多くなっています。

